

2010年11月26日

2011年3月期：第2四半期決算説明資料



80th
おかげさまで創業80周年 **株式会社 イチネンホールディングス**

東証・大証一部 コード：9619

このプレゼンテーション資料には、2010年11月26日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。実際の業績は、今後のさまざまな要因によって、これらの計画・見通しとは異なる可能性があります。



■ 会社概要 ■

■ 商号

株式会社イチネンホールディングス
(ICHINEN HOLDINGS CO.,LTD)

■ 設立年月日

1963年 (昭和38年)5月7日

■ 本社

大阪市淀川区西中島四丁目10番6号

■ 代表者

代表取締役社長 黒田 雅史 (くろだ まさし)

■ 上場

東証・大証1部 (9619)

■ 資本金

2,529百万円 (2010年9月30日現在)

■ 売上高

471億円 (2010年3月期連結実績)

■ 従業員数

連結604名 (2010年9月30日現在)



■ イチネンホールディングス: 80年の軌跡 ■

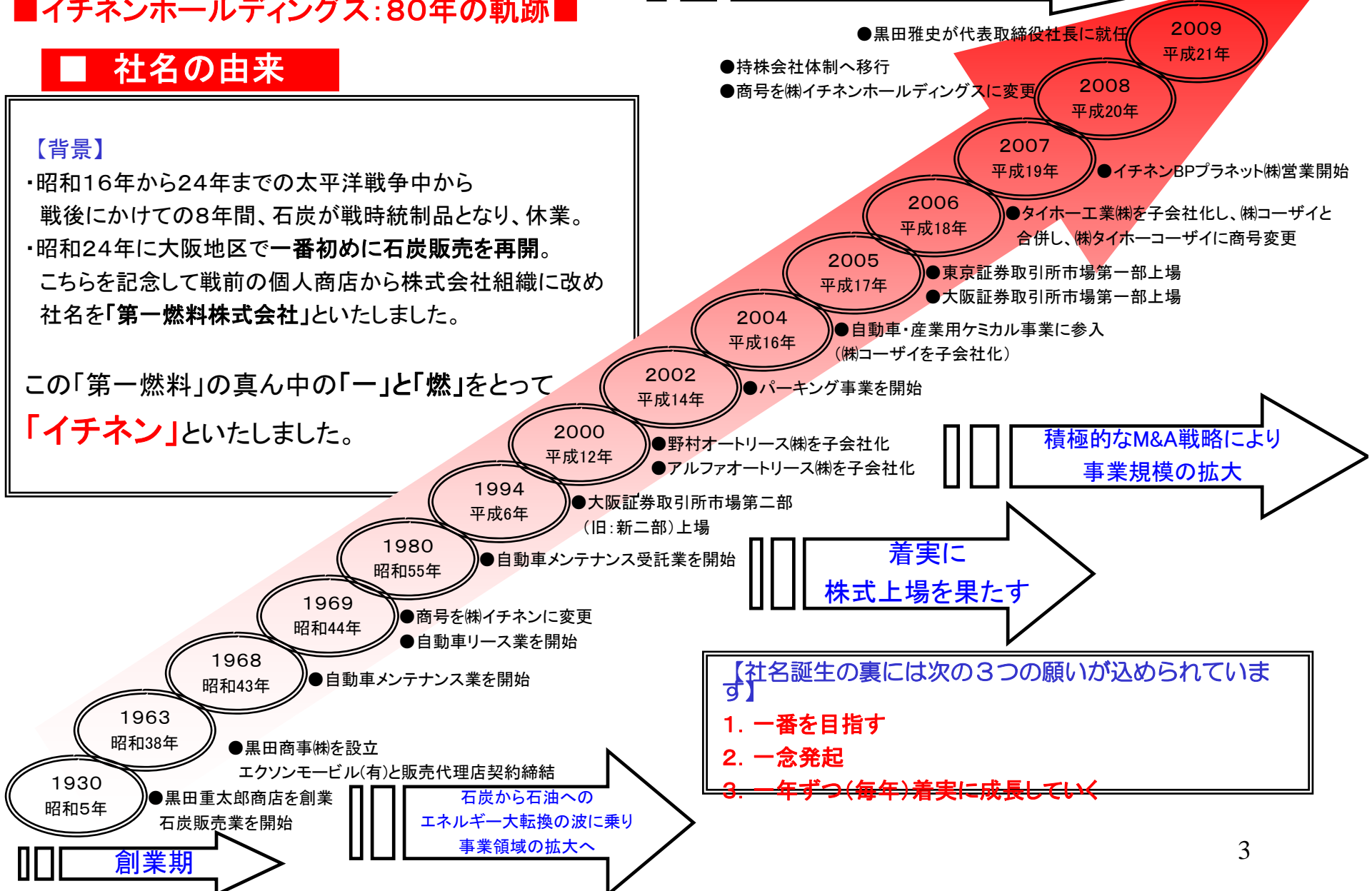
■ 社名の由来

【背景】

- ・昭和16年から24年までの太平洋戦争中から戦後にかけての8年間、石炭が戦時統制品となり、休業。
- ・昭和24年に大阪地区で一番初めに石炭販売を再開。こちらを記念して戦前の個人商店から株式会社組織に改め社名を「第一燃料株式会社」といたしました。

この「第一燃料」の真ん中の「一」と「燃」とって「イチネン」といたしました。

第2創成期: 2010年・創業80周年



■ **イチネングループの経営理念** ■

当社は、最高の品質とサービスで、より多くの顧客に満足を与え、
 適正な利潤を確保することにより、株主及び従業員に報い、且つ
 社会に奉仕することを経営の基本理念とする。

■ **イチネングループの事業ポリシー: 連邦制経営** ■

【連邦制経営】の推進により、経営の安定性を図り、かつ、経営の効率性を高め、
収益性の高い企業グループへ飛躍する。



2004年4月にイチネングループの2010年問題を警鐘

環境保全に対する意識の高まりにより
クルマが変わる

ガソリンエンジンから 旧来の収益モデル
 燃料電池やモーターへ への危機感



「低排出ガス車認定要領」
 (平成12年運輸省告示第103号)
 に基づく認定車両 「カローラ浪速(株)提供」

連邦制経営によるグループの強化

リース事業	自動車メンテナンス 受託事業	燃料販売事業	パーキング事業	ケミカル事業
-------	-------------------	--------	---------	--------

収益性 効率性 安定性 成長性

**クルマが変わっても必要とされるサービスを
 新たな事業として育成する**



■ 事業分野 ■

リース事業

イチネンのリース事業は、整備工場を経営する中で創り上げました。だからこそ高品質なメンテナンスに自信があります。

◎自動車に関わる負担を大幅に削減します。●車両管理業務の軽減 ●資金の有効活用 ●車両経費の削減

ケミカル事業

産業工業製品並びに民生用化学製品の分野に独自の技術力、開発力を通じオリジナル製品／OEM製品を開発しています。

●工業用薬品類(燃料添加剤、産業用溶剤、高性能潤滑剤) ●化学品類(カーケア用品、自動車工業用品、ゴム・プラスチックの表面加工、各種クリーナー)

自動車メンテナンス受託事業

メンテナンスを中心とした車両管理のアウトソーシング。法人・リース会社さまへの自動車メンテナンス受託事業を行っています。

◎業界一を誇る点検実施率で全国どこでも高品質な『安全』と『安心』をお届けします。●約7,000社のサービスネット ●点検情報の集中管理 ●巡回サービス

◎車体修理管理サービスが2007年4月よりスタートしました。

燃料販売事業

創業80年。石油の老舗ならではのノウハウと燃料給油カードで企業の燃料コストと経理事務の大幅な削減を実現しています。

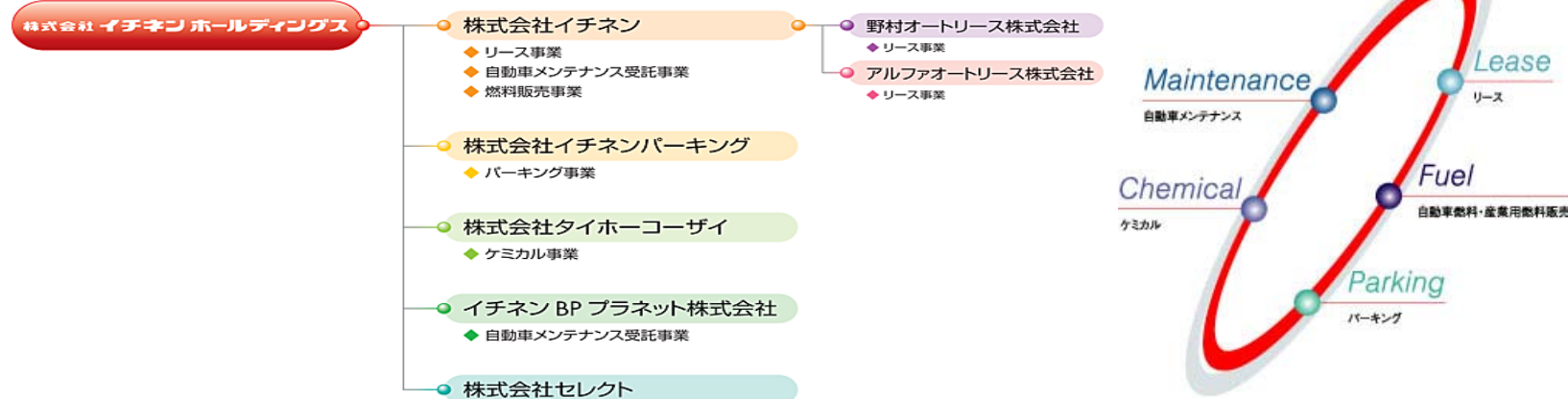
●ガソリン(自動車用燃料) ●軽油(自家発電用燃料・自動車用燃料) ●重油 ●灯油 ●潤滑油

パーキング事業

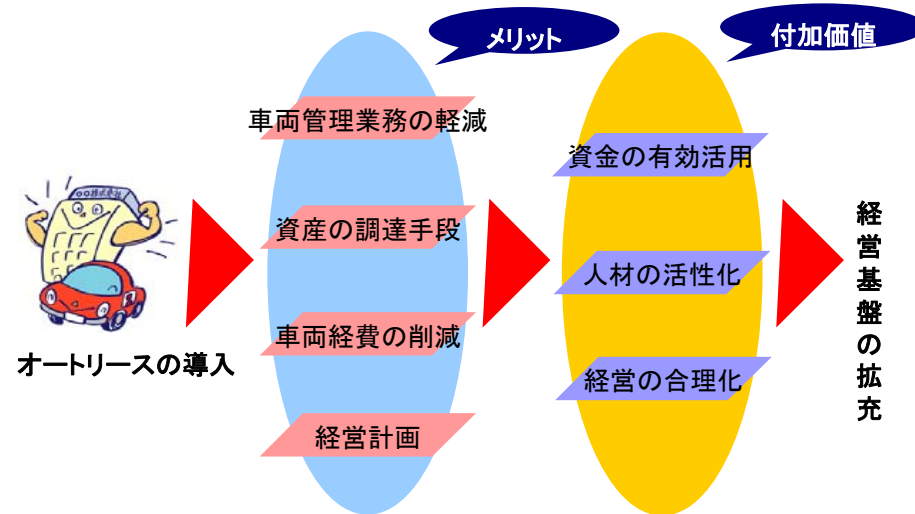
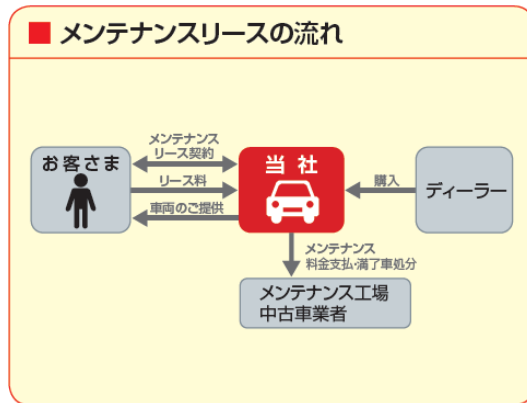
現在拡大中の駐車場市場。独自の管理システムで既存駐車場や遊休土地に安定収益を提供するパーキングを展開していきます。

●既存駐車場の運営管理 ●立体駐車場の運営管理 ●土地の一括借り上げによるコインパーキング運営管理

■ グループ組織図 ■



■リース事業■



リース保有台数
(単位 千台)

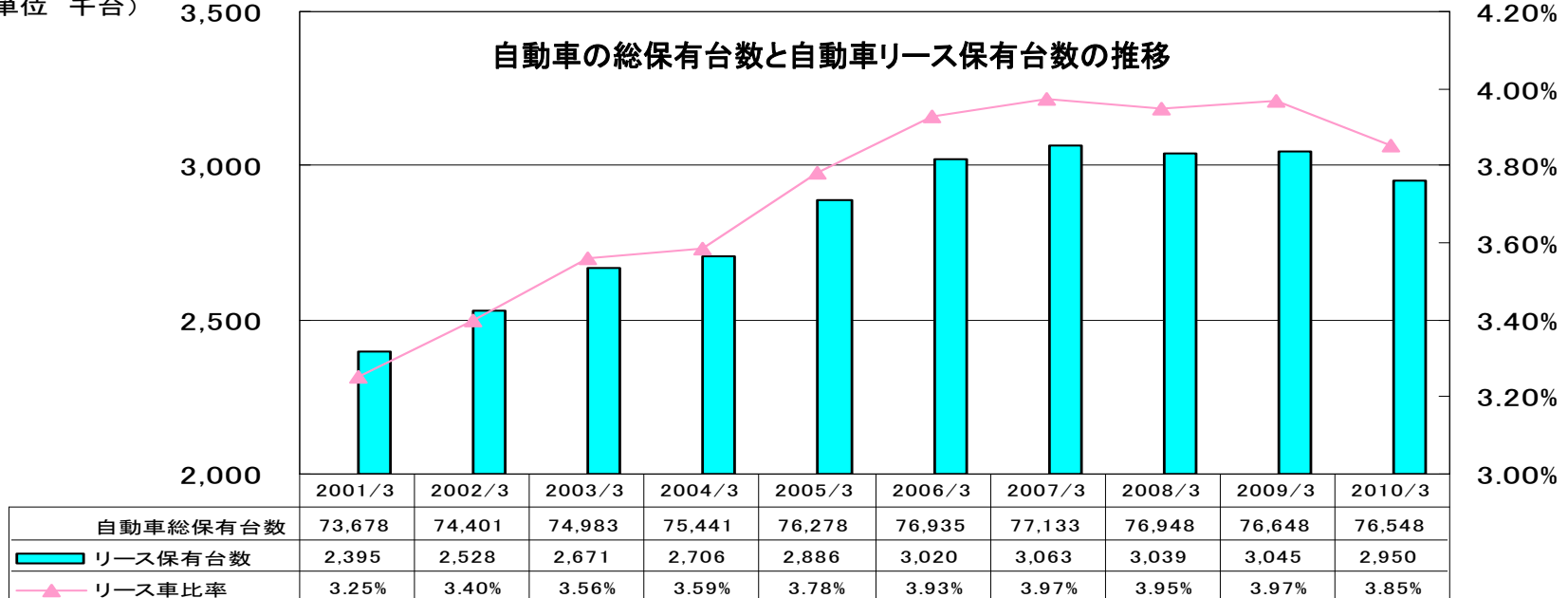
3,500

3,000

2,500

2,000

自動車の総保有台数と自動車リース保有台数の推移



リース車比率

4.20%

4.00%

3.80%

3.60%

3.40%

3.20%

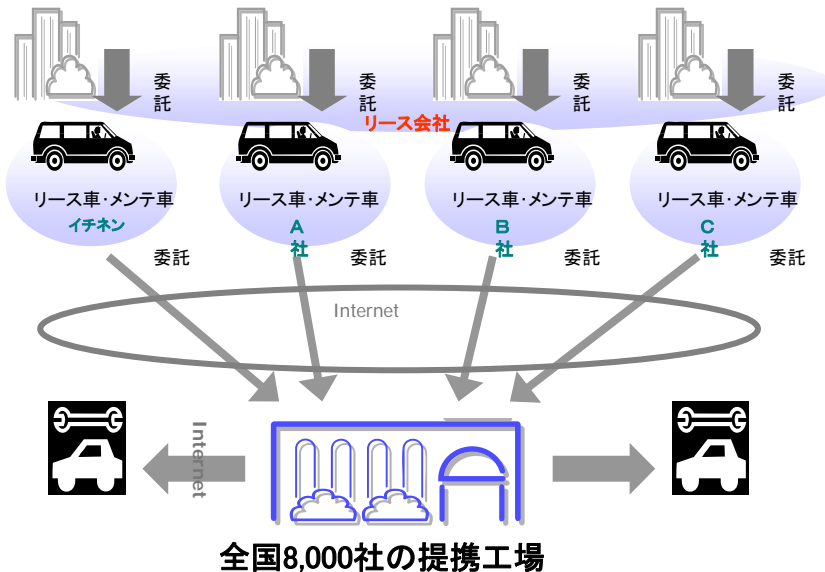
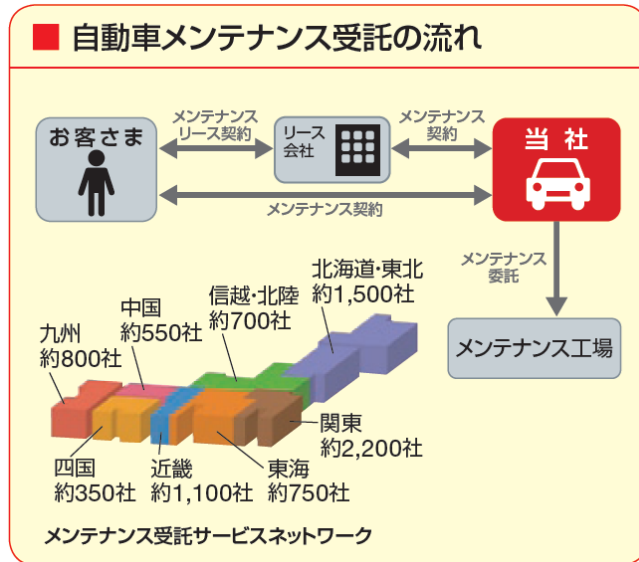
3.00%

資料:2007年分までは国土交通省及び(財)自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数」

2008年からの数値は、一般社団法人日本自動車リース協会連合会(以下JALA)が、会員自動車リース事業者から報告を受け

集計した全国リース保有台数調査の数値。JALAのリース車保有台数は、全リース事業者のリース車保有台数の約94%を占めております。

■自動車メンテナンス受託事業■



■燃料販売事業■



エクソンモービル・コーポレートカード

全国のエッソ・モービル・ゼネラルのサービスステーションで、利用可能



燃料費のトータルコストダウンに貢献!

- ・全国統一価格、支払窓口の一元化
- ・給油実績データの提供で経費分析も可能

■ケミカル事業■

工業薬品

・燃料添加剤



液体燃料用添加剤
(重油・軽油・バイオマス)
タイホーコーザイは
国内市場
80%のシェア



固形燃料用添加剤
(石炭・石炭コークス・バイオマス)
新しい市場として
急拡大
石炭添加剤で収益拡大
2年で3倍増の
10億円規模

燃料添加剤とは

石油化学・鉄鋼・紙パルプに代表される工場や電力会社の発電用ボイラや海上では大型のLNG船やタンカー・貨物船などで使用される様々な燃料に対し、燃焼効率向上等に効果を発揮する工業薬品です。

その効能は

- 燃焼効率向上による省エネ効果
- 省エネ効果による二酸化炭素 (CO2) ガスの削減効果
- ボイラ炉内の汚れ防止と稼働率の向上
- 大気汚染物質の抑制
窒素酸化物 (NOx), 硫黄酸化物 (SOx), 煤塵 (ススや燃えカス) 等
- ディーゼルの黒煙防止

化学品

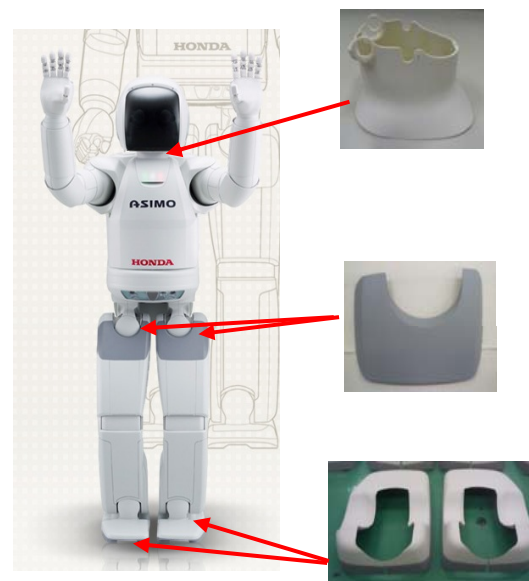
・産業用機械、自動車用ケミカル製品



・コンシューマケミカル



・ファインケミカル



二足歩行ロボット
の
エラストマー製
外装パーツに
当社の
表面処理技術が
採用されて
おります。

■ パーキング事業 ■

安全・安心・清潔



地球環境へのやさしさと、より安全で快適な車社会に
 必要不可欠なパーキング。
 独自の管理システムと積極的な事業展開で
 土地の有効利用と
 安定収益を実現します。



店舗や商業施設、病院に附帯した駐車場にも積極的に取り組み、
 土地オーナー様やドライバーの皆様にご安心して快適なサービスをご提供しています。

■MEMO■



■2011年3月期 計画■

『人と社会に
こちよい安全・安心と
優しい環境を創る』
今までも、そしてこれからも。
私たちイチネングループは
人と社会と未来に貢献し続けます。
*For comfortable **First** Life*

株式会社イチネンホールディングス 代表取締役社長

黒田 雅史
Kuroda Masashi



■ 経営・事業戦略 ■

イチネングループは「安全・安心」そして「環境」の面から、企業に、社会に、未来に貢献していきます。

イチネングループのCSR
Corporate Social Responsibility



■ 経営施策 ■

連邦制経営を継続する。

業務効率の向上、コストダウンを図る。

財務体質を強化する。

財務面の数値目標（2013年3月期）

自己資本200億円超・営業利益40億円超・自己資本比率25%超

■2011年3月期計画(連結)■

(2010年5月7日公表数値)

(単位:百万円)

		08/3実績	09/3実績	10/3実績	11/3計画
売上高(百万円)	リース	27,030	25,853	23,692	22,727
	メンテナンス	7,617	7,834	7,544	7,180
	燃料販売	3,136	3,311	2,049	2,479
	ケミカル	12,099	11,372	10,908	11,734
	パーキング	2,375	2,381	2,870	3,508
	計	52,684	50,960	47,135	48,000
営業利益(百万円)	リース	1,834	1,610	1,292	1,318
	メンテナンス	370	451	647	439
	燃料販売	86	211	152	284
	ケミカル	695	468	580	638
	パーキング	-145	5	141	249
	計	2,878	2,886	2,943	3,050
経常利益(百万円)		2,537	2,419	2,523	2,570
当期純利益(百万円)		1,746	1,085	1,664	1,670
株主資本利益率(ROE)		15.29%	8.72%	11.97%	10.70%
総資産営業利益率(ROA)		3.70%	3.65%	3.85%	4.10%
1株当たり当期純利益(円)		78.57	47.52	69.41	66.39

★2011年3月期:営業利益・過去最高益の更新、経常利益・過去最高益を目指します

■2011年3月期四半期セグメント別利益計画■

(単位:百万円)

		第1	第2	第3	年間
リース	売上高	5,638	11,311	16,995	22,727
	粗利益	973	2,000	2,957	4,054
	営業利益	260	595	887	1,318
メンテナンス	売上高	1,726	3,467	5,315	7,180
	粗利益	298	691	1,049	1,525
	営業利益	15	133	228	439
燃料販売	売上高	580	1,201	1,847	2,479
	粗利益	185	393	613	827
	営業利益	42	113	201	284
ケミカル	売上高	2,805	5,710	8,785	11,734
	粗利益	1,157	2,354	3,559	4,724
	営業利益	116	279	471	638
パーキング	売上高	841	1,717	2,606	3,508
	粗利益	127	268	424	571
	営業利益	43	103	180	249
その他	売上高	106	195	282	372
	粗利益	62	98	173	249
	営業利益	26	30	75	122
合計	売上高	11,696	23,601	35,830	48,000
	粗利益	2,802	5,804	8,775	11,950
	営業利益	502	1,253	2,042	3,050

■ 2011年3月期 第2四半期 決算の状況 ■

■ 11/3月期 第2四半期 連結損益計算書 ■

		2009.9期:実績	2010.9期:実績	前期比	2010.9期:計画	計画比
売 上	リ　　ー　　ス	12,028	11,564	-3.9%	11,311	2.2%
	メンテナンス	3,846	3,765	-2.1%	3,467	8.6%
	燃　　　　　料	900	1,295	43.9%	1,201	7.8%
	ケ　ミ　カ　ル	5,369	5,425	1.0%	5,710	-5.0%
	パ　ー　キ　ン　グ	1,314	1,719	30.8%	1,717	0.1%
	計	23,560	23,809	1.1%	23,601	0.9%
営 業 利 益	リ　　ー　　ス	686	620	-9.6%	595	4.2%
	メンテナンス	315	172	-45.4%	133	29.3%
	燃　　　　　料	16	236	1375.0%	113	108.8%
	ケ　ミ　カ　ル	263	304	15.6%	279	9.0%
	パ　ー　キ　ン　グ	24	116	383.3%	103	12.6%
	計	1,373	1,524	11.0%	1,253	21.6%
経常利益		1,187	1,326	11.7%	1,020	30.0%
当期純利益		729	914	25.4%	662	38.1%
営業利益率		5.8%	6.4%	0.6%	5.3%	1.1%
経常利益率		5.0%	5.6%	0.5%	4.3%	1.2%
当期純利益率		3.1%	3.8%	0.7%	2.8%	1.0%

■ 11/3月期 第2四半期 連結貸借対照表 ■

(単位:百万円)

		2009/9	2010/3	2010/9	10/3からの増減額
資 産	流動資産	34,121	30,272	33,249	2,977
	リース・メンテナンス等未収入金	2,032	1,528	1,995	467
	リース投資資産	17,574	16,586	18,479	1,893
	固定資産	41,650	42,924	44,611	1,687
	賃貸資産	13,948	14,939	16,552	1,613
	合 計	75,834	73,266	77,925	4,659
負 債 及 び 純 資 産	流動負債	25,814	24,051	27,866	3,815
	短期借入金、社債および コマーシャルペーパー	16,097	13,205	16,474	3,269
	固定負債	36,534	34,197	34,542	345
	社債	6,560	6,210	5,310	-900
	長期借入金	28,560	26,835	26,784	-51
	負債の合計	62,349	58,249	62,409	4,160
	純資産の合計	13,484	15,016	15,516	500
	合 計	75,834	73,266	77,925	4,659
自己資本比率 (%)		17.8%	20.5%	19.9%	

■ 11/3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フロー ■

キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2008/9	2009/9	2010/9	増減額
営業活動	1,895	2,261	-1,406	-3,667
投資活動	-606	-587	-84	503
財務活動	-1,514	-4,630	1,477	6,107

※ 営業活動によるキャッシュ・フローは、△14億6百万円(前年同期は22億61百万円)となりました。これは主に、「税金等調整前四半期純利益」が13億14百万円となった一方で、リース契約の増加に伴い「賃貸資産の純増減額(△は増加)」が△39億37百万円となったこと等によるものであります。

※ 投資活動によるキャッシュ・フローは、△84百万円(前年同期は△5億87百万円)となりました。これは主に「有形及び無形固定資産の取得による支出」△3億74百万円及び「連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入」2億53百万円によるものであります。

※ 財務活動によるキャッシュ・フローは、14億77百万円(前年同期は△46億30百万円)となりました。これは主に、「社債の償還による支出」△12億50百万円が「社債の発行による収入」9億88百万円を上回った一方、「借入による収入」97億43百万円が「借入金の返済による支出」△76億35百万円を上回ったことによるものであります。

設備投資・減価償却

(単位:百万円)

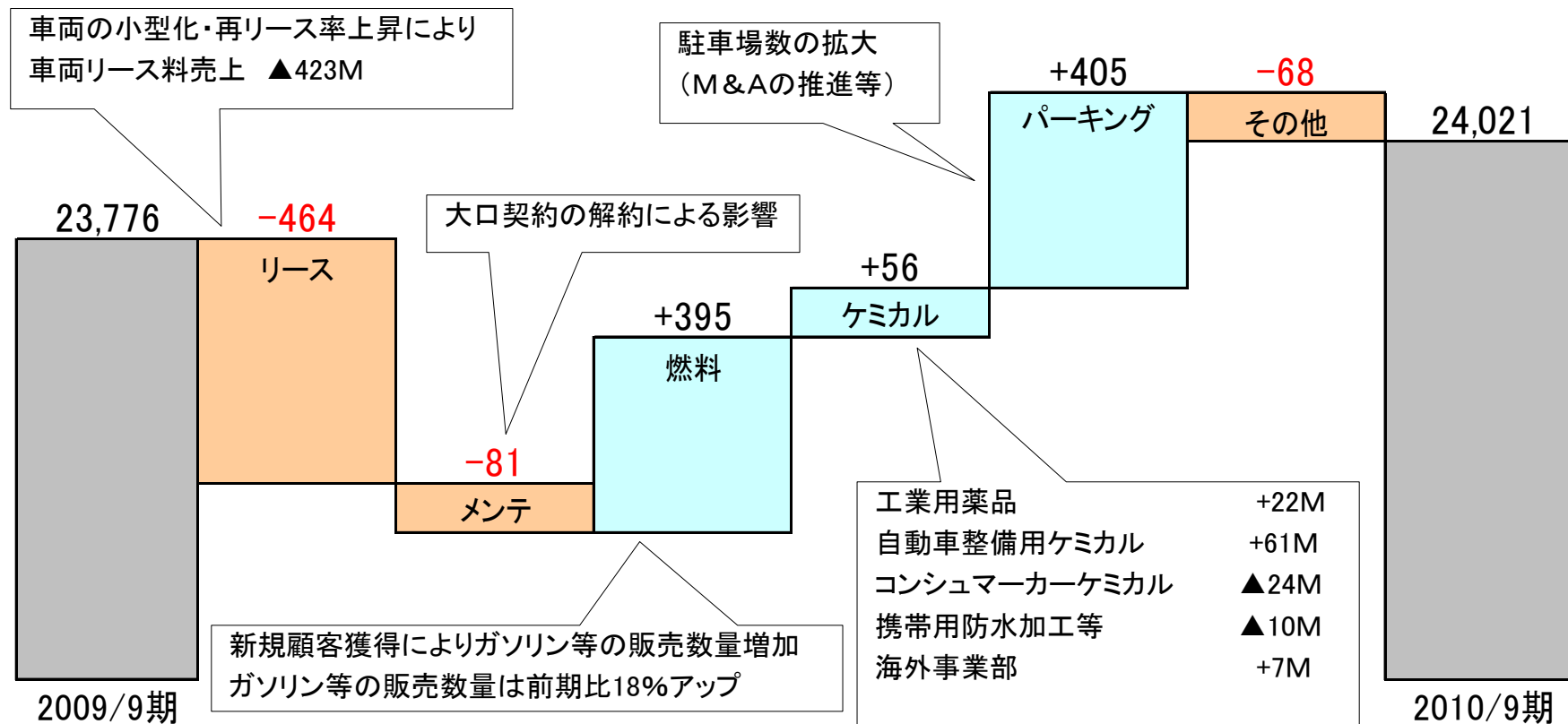
	2008/9	2009/9	2010/9	増減額
設備投資	7,248	3,733	4,595	862
内 リース資産	6,682	3,214	4,220	1,006
減価償却	7,120	2,628	2,869	241
内 リース資産	6,832	2,282	2,486	204

※ リース会計基準の変更に伴い09/3期よりファイナンスリース資産については、設備投資並びに減価償却費は認識しないようになりました。

■連結売上高 対前期比■

単位:百万円

	リース	メンテ	燃料	ケミカル	パーキング	その他	合計
前期	12,028	3,846	900	5,369	1,314	318	23,776
当期	11,564	3,765	1,295	5,425	1,719	250	24,021
前期増減	-464	-81	395	56	405	-68	245

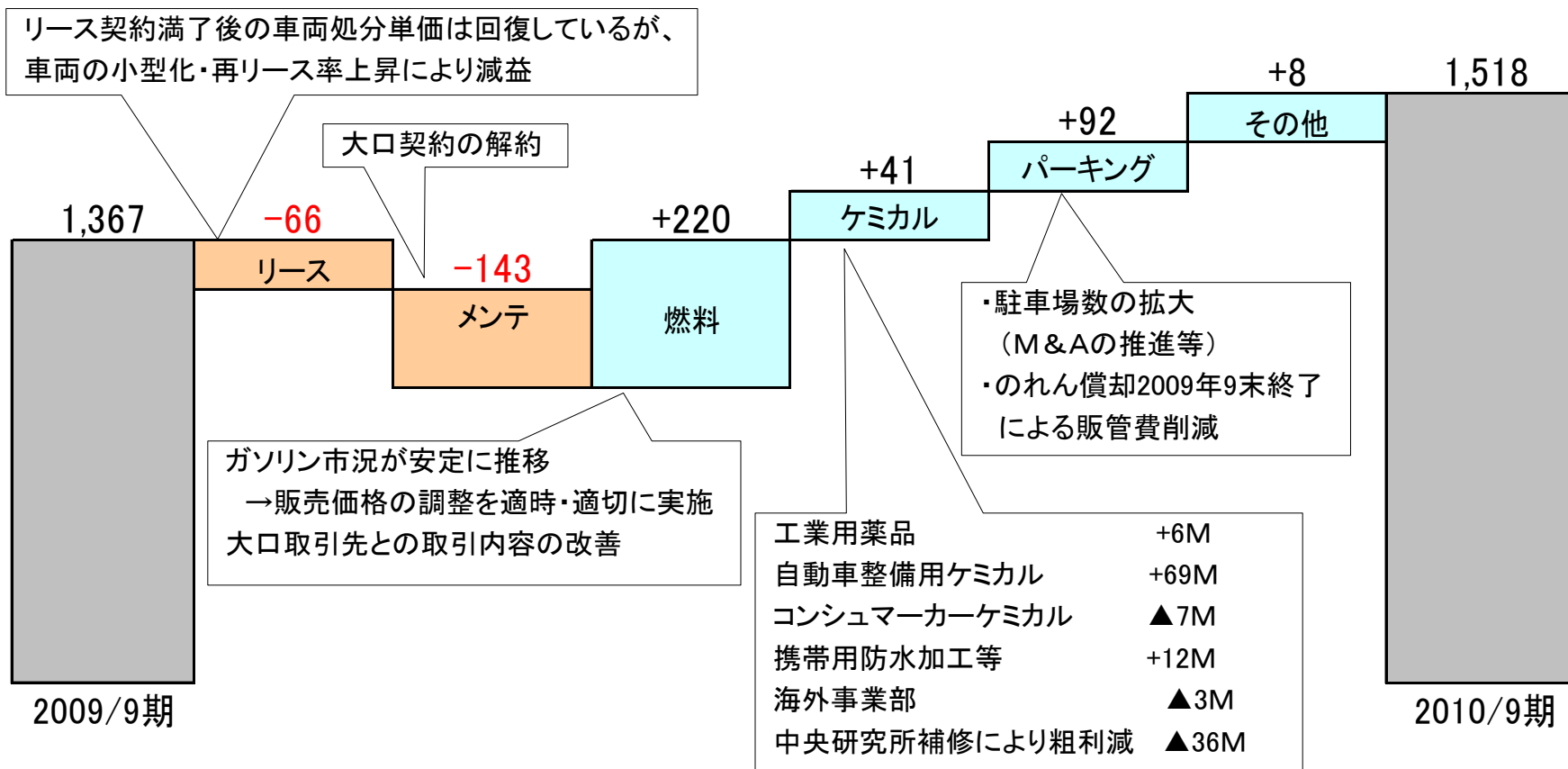


※連結売上高の要因分析は内部消去前の金額であります。

■連結営業利益 対前期比■

単位:百万円

	リース	メンテ	燃料	ケミカル	パーキング	その他	合計
前期	686	315	16	263	24	61	1,367
当期	620	172	236	304	116	69	1,518
前期増減	-66	-143	220	41	92	8	151

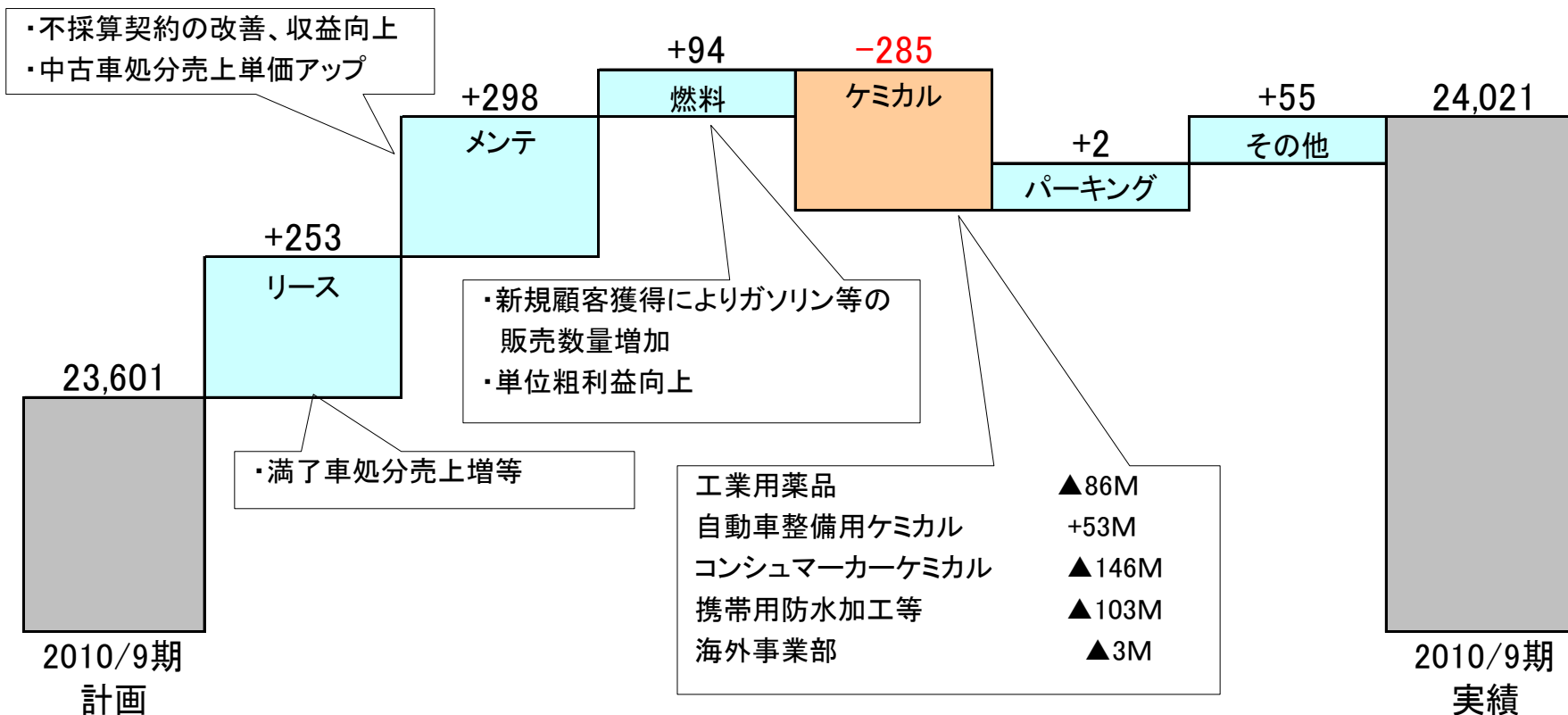


※連結営業利益の要因分析は内部消去前の金額であります。

■連結売上高 対計画比■

単位:百万円

	リース	メンテ	燃料	ケミカル	パーキング	その他	合計
計画	11,311	3,467	1,201	5,710	1,717	195	23,601
実績	11,564	3,765	1,295	5,425	1,719	250	24,021
計画差異	253	298	94	-285	2	55	420

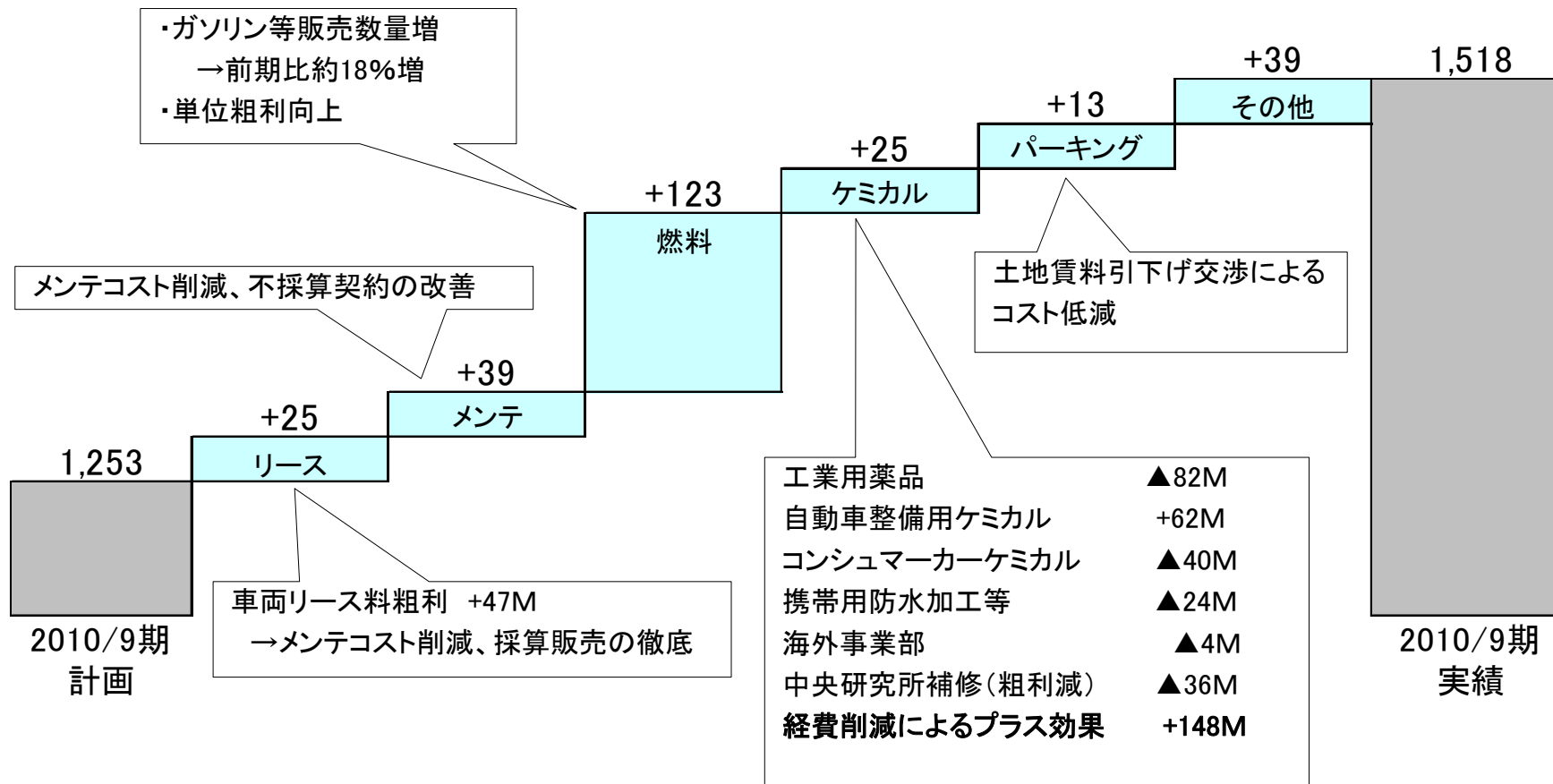


※連結売上高の要因分析は内部消去前の金額であります。

■連結営業利益 対計画比■

単位:百万円

	リース	メンテ	燃料	ケミカル	パーキング	その他	合計
計画	595	133	113	279	103	30	1,253
実績	620	172	236	304	116	69	1,518
計画差異	25	39	123	25	13	39	265



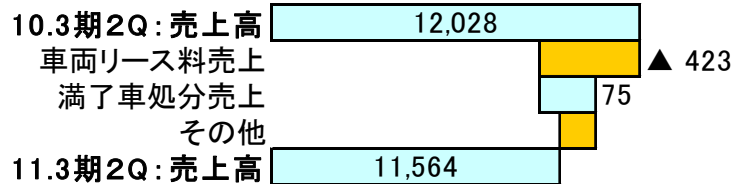
※連結営業利益の要因分析は内部消去前の金額であります。

リース事業の総括

- 2011年3月期 第2四半期の総括
 - ・地域営業本部制による顧客との関係強化
→潜在需要の発掘
 - ・**M&A成功(約3,000台)により保有台数が大幅に増加**
 - ・**満了車処分粗利益は、回復基調へ**
 - ・徹底した原価見直しによるコスト削減
 - ・顧客の節約志向による車両の小型化、再リース率の上昇

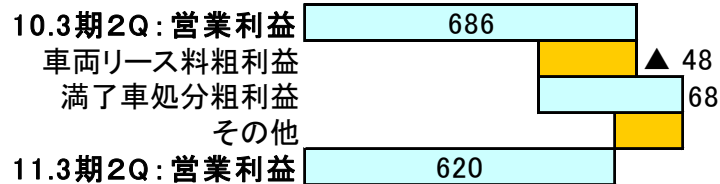
売上高前年対比

(単位:百万円)



営業利益前年対比

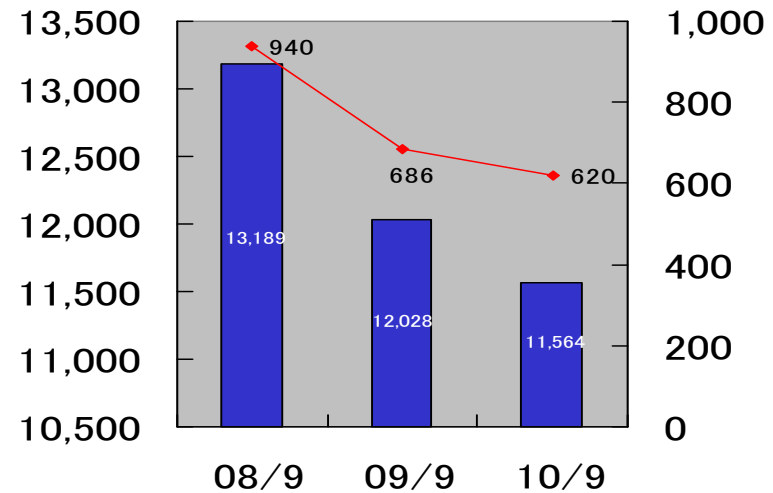
(単位:百万円)



※売上高、営業利益は連結消去前の金額であります。

売上高・営業利益

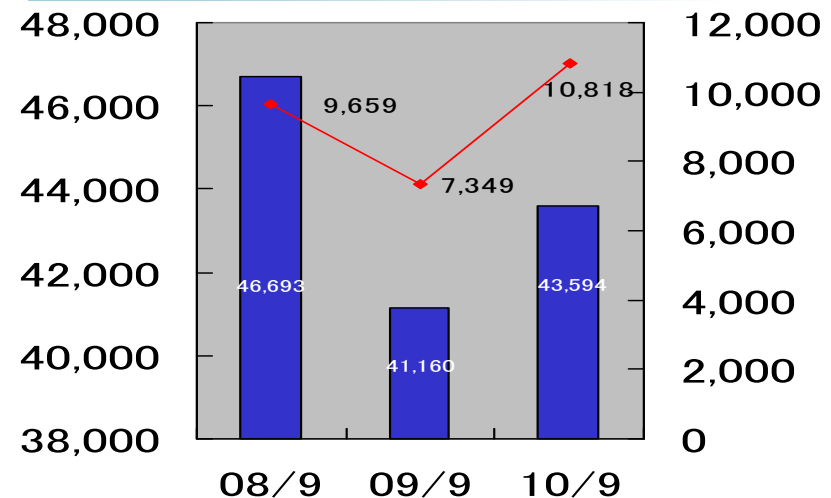
(単位:百万円)



■ 売上高 ◆ 営業利益

契約残高・契約高

(単位:百万円)



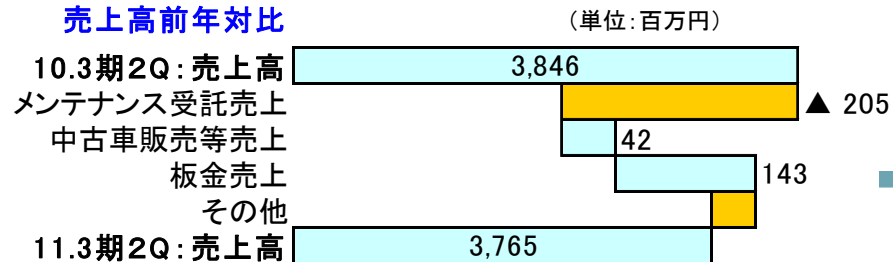
■ 契約残高 ◆ 契約高

■自動車メンテナンス受託事業の総括■

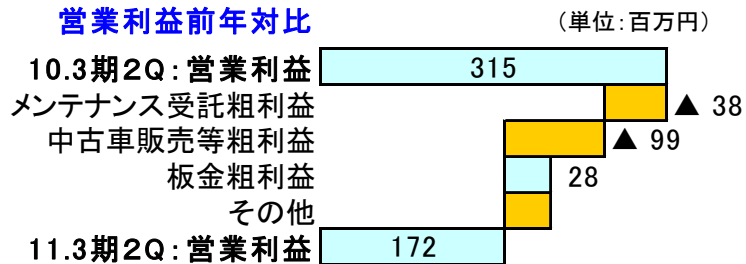
●2011年3月期 第2四半期の総括

- ・地域営業本部制による顧客との関係強化
→潜在需要の発掘
- ・徹底した採算改善による粗利益率の改善
- ・**板金事業は、第2四半期以降、黒字化**
- ・前期の大口顧客の解約による利益減少が今期末まで影響

売上高前年対比



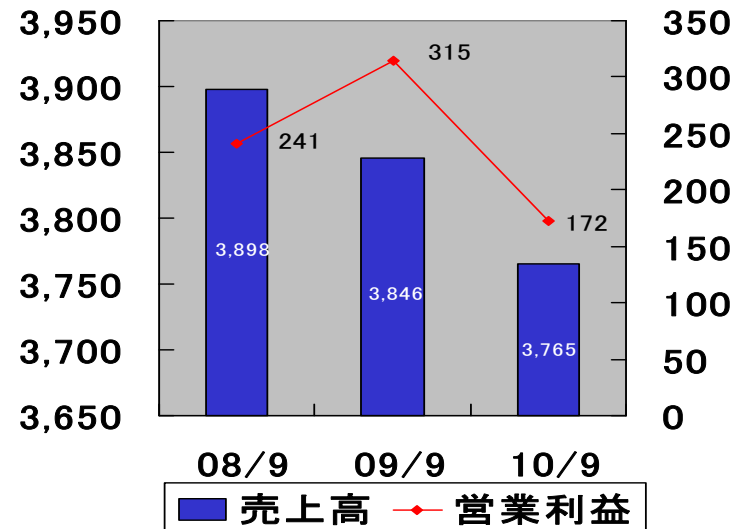
営業利益前年対比



※売上高、営業利益は連結消去前の金額であります。

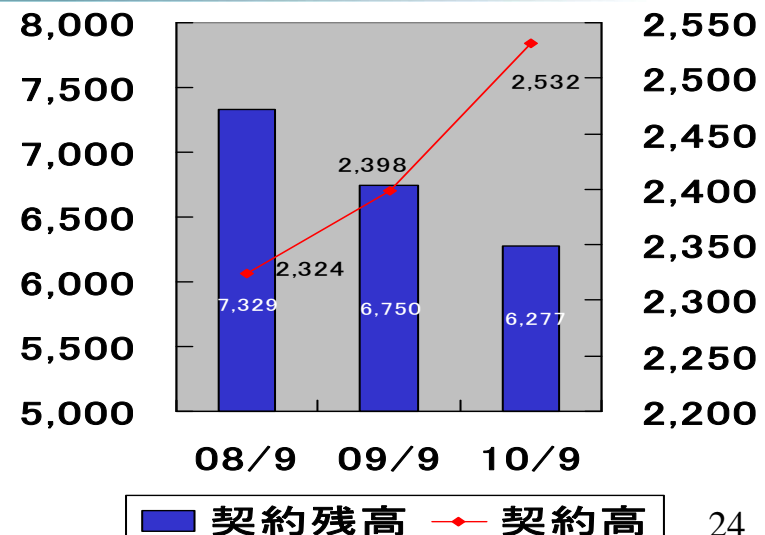
売上高・営業利益

(単位:百万円)



契約残高・契約高

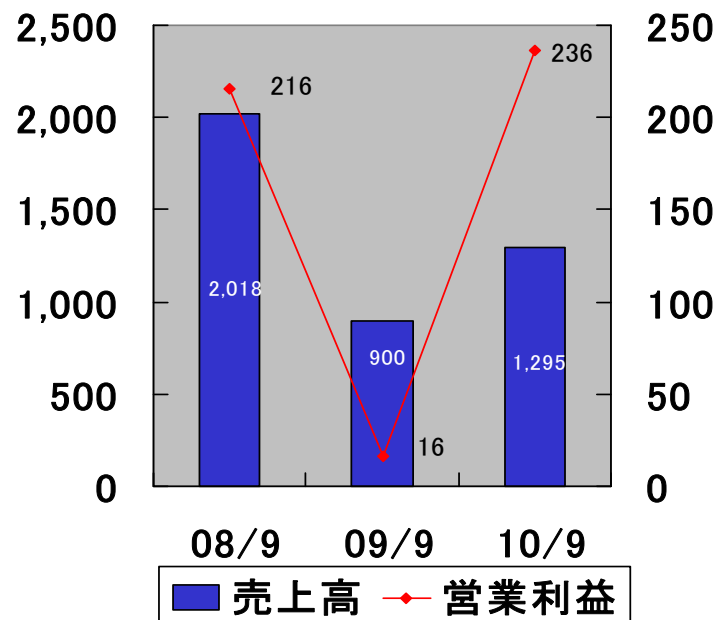
(単位:百万円)



■ **燃料販売事業の総括** ■

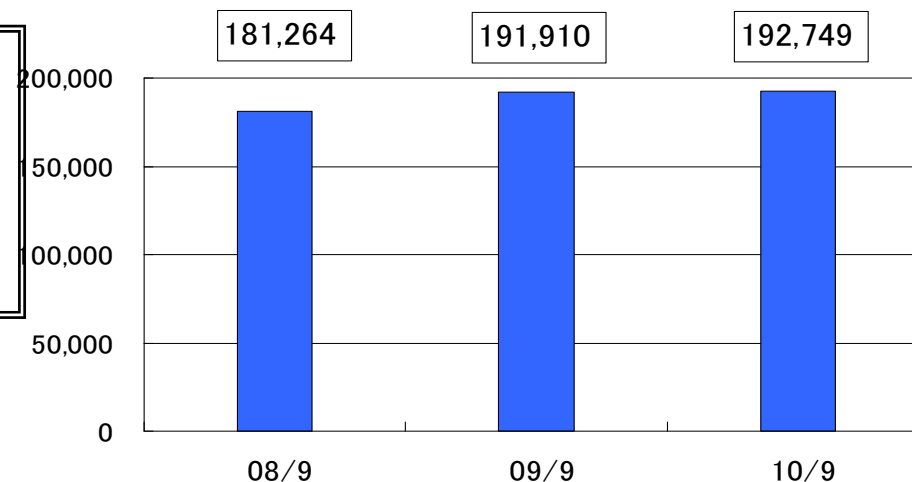
●2011年3月期 第2四半期の総括
 ・主力の燃料カードによるガソリン等の販売数量は
 新規顧客獲得、並びに猛暑によるガソリン消費量の拡大もあり、
前年同期比18.0%増
 ・ガソリン市況の安定推移により、単位粗利確保
 ・大口取引先との取引内容の大幅改善に成功

売上高・営業利益 (単位:百万円)

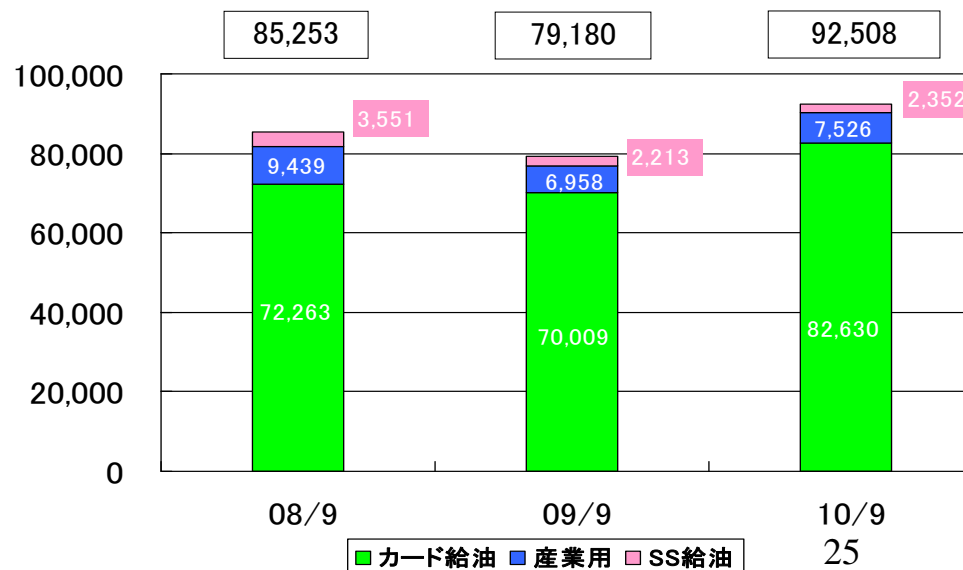


※売上高、営業利益は連結消去前の金額であります。

カード発券枚数 (単位:枚)



売上数量 (単位:KL)



■ケミカル事業の総括■

●2011年3月期 第2四半期の総括

【工業薬品関連】

・鉄鋼業界向け「炉床滑り剤」が着実に販売数量を伸ばす

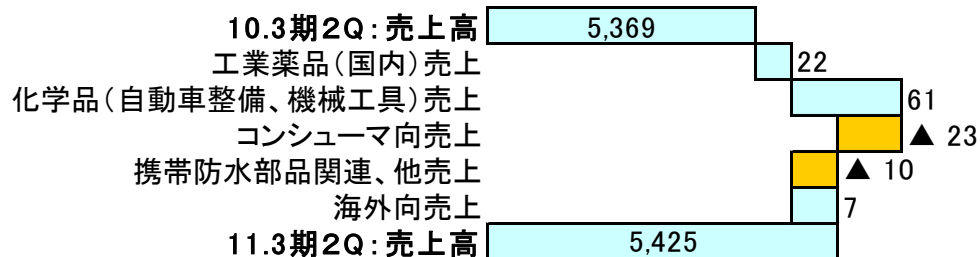
【化学品関連】

・エコカー減税による自動車メーカー操業回復による需要増の影響を受け、機械工具商ケミカル商品の販売数量増

・防水型携帯電話部品関連は、量産納入が、下期に移行

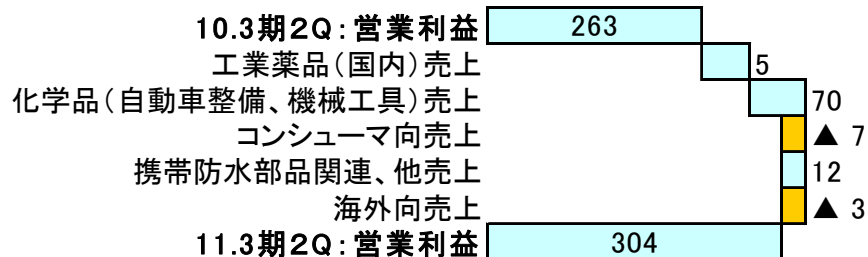
売上高前年対比

(単位:百万円)



営業利益前年対比

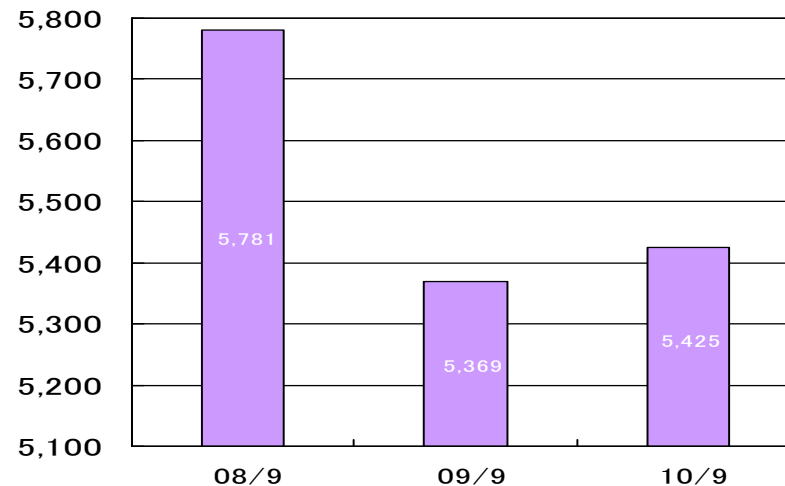
(単位:百万円)



※売上高、営業利益は連結消去前の金額であります。

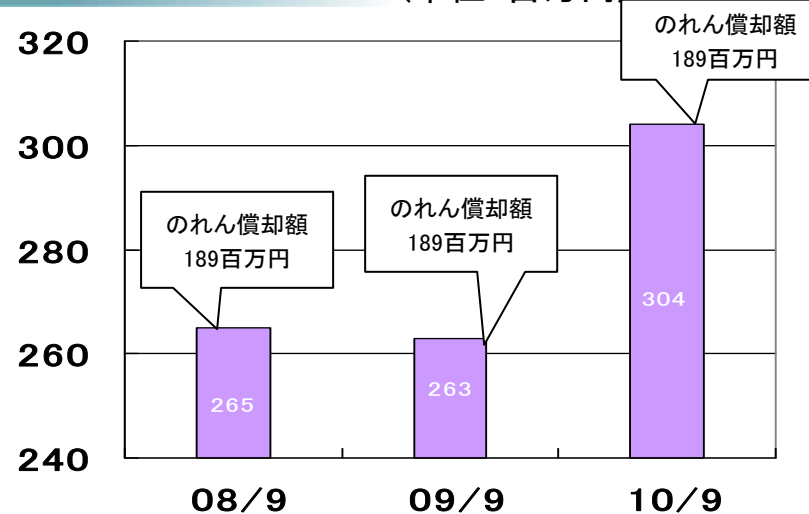
売上高

(単位:百万円)



営業利益

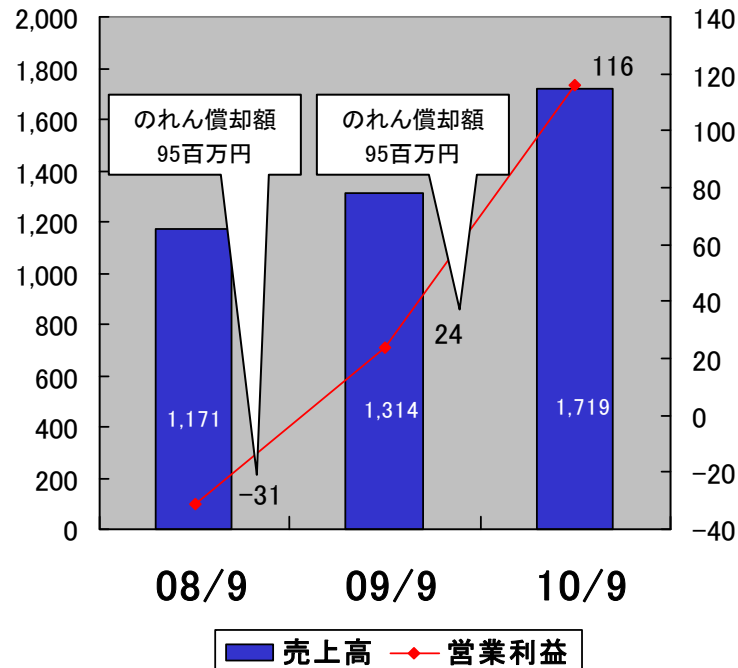
(単位:百万円)



■ パーキング事業の総括 ■

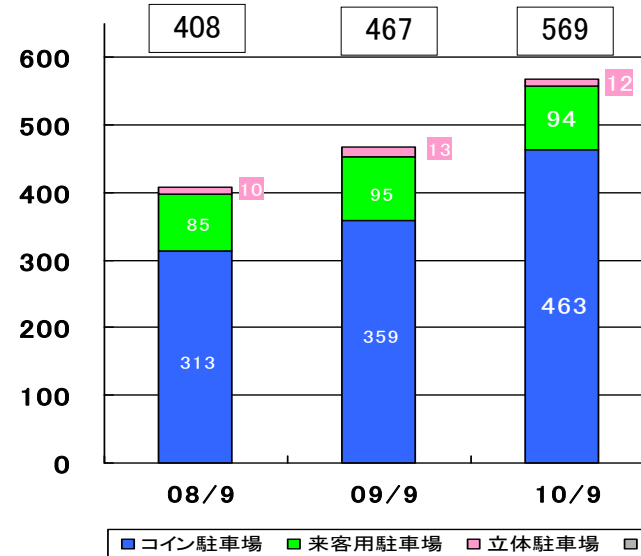
- 2011年3月期 第2四半期の総括
- ・病院・商業施設附帯の駐車場へ積極アプローチ
⇒大阪府済生会富田林病院附帯の駐車場(158台)と新規成約(9/27)
 - ・不採算駐車場の採算改善
→月極め契約の募集、駐車料金の見直し(売上拡大)
→土地賃借料の引き下げ交渉、赤字物件の解約(コスト低減)

売上高・営業利益 (単位:百万円)

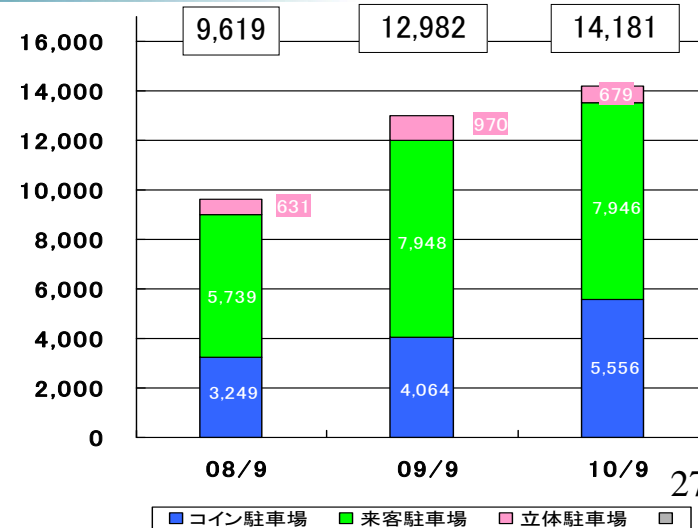


※売上高、営業利益は連結消去前の金額であります。

駐車場箇所数 (単位:箇所数)



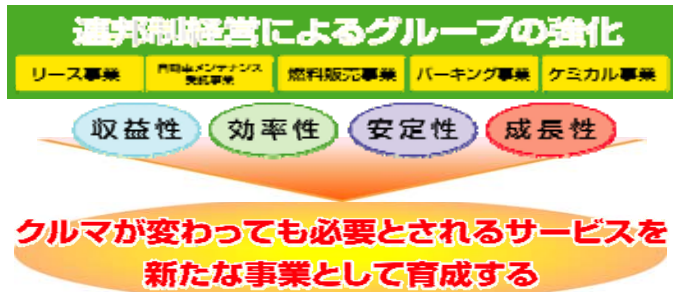
管理台数 (単位:台数)



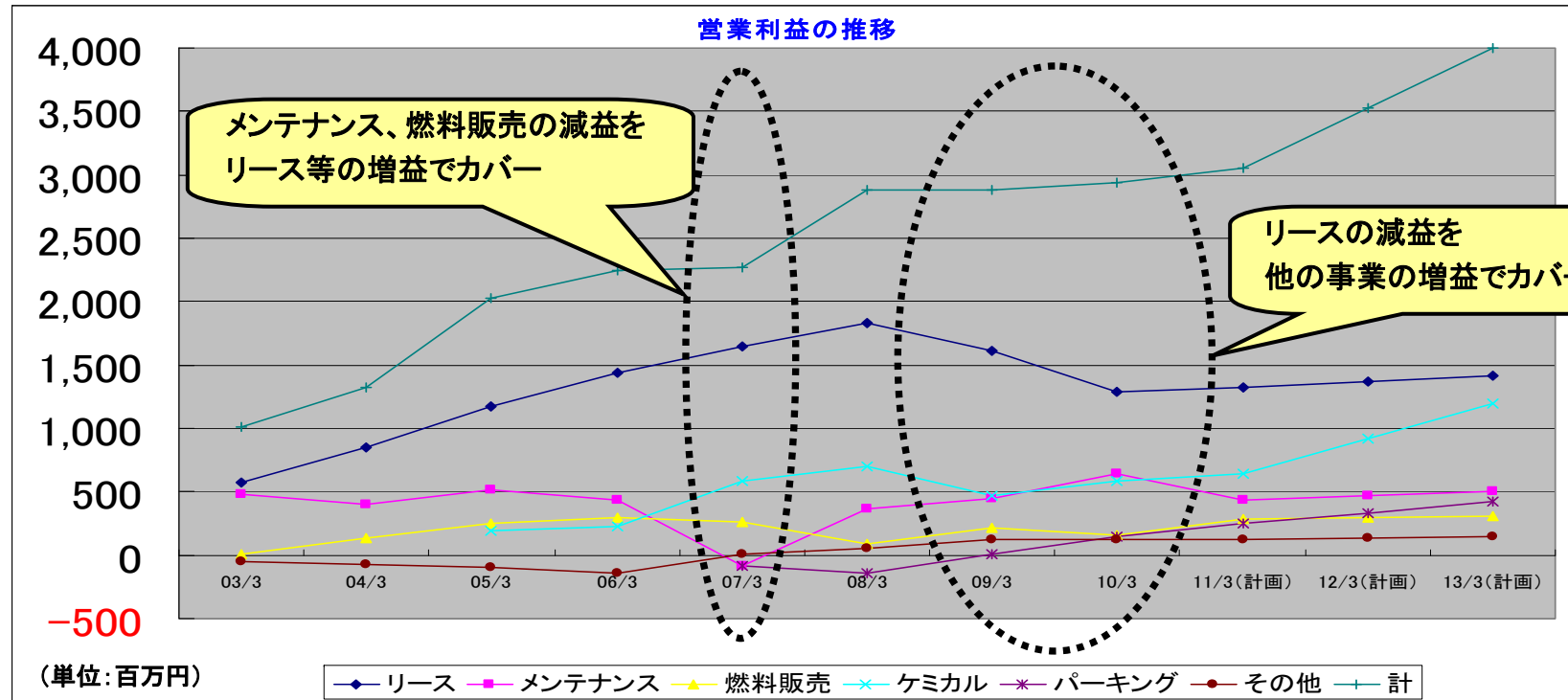
■MEMO■

■イチネングループの今後の成長戦略■

【連邦制経営】の推進により、経営の安定性を図り、かつ、経営の効率性を高め、
収益性の高い企業グループへ飛躍する。



成長事業	ケミカル事業
	パーキング事業
	車体修理管理サービス事業(板金)
	カーシェアリング事業
収益基盤事業	リース事業



【注】
 パーキング事業
 においては、
 2006.3期までは、
 全セグメントの
 資産合計額の
 10%未満であった
 ため、その他事業
 に含めております。

■ケミカル事業の今後の方針■

●2011年3月期の方針

- ・自社製品比率の向上による粗利益率の大幅向上
 - ・燃料添加剤以外の分野への営業展開
⇒**鉄鋼業界向け「炉床滑り剤」好調！！**
- ・マリン(船舶)用添加剤の拡販
- ・海外市場での拡販
- ・新規製品、商品の開発スピードの加速、
早期の軌道乗せ



工業薬品関連

- ・収益性の高い燃料添加剤(特に石炭・バイオマス用)の拡販
- ・新規商品である船舶向・省エネ型添加剤の本格販売
- ・当社独自のノウハウを生かしたコンサルティング型営業の推進、他業種との研究開発(産学協同)

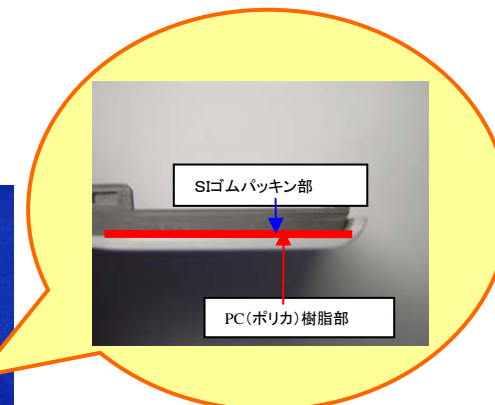
化学品関連

- ・防水型携帯電話部品関連で当該部品でのシェアNO. 1を目指す
→海外携帯メーカーへの展開
- ・コンシューマー向商品の拡販
→重点小売店への効果的な提案によるグリップ強化(全国展開へ)

売上高計画要因

(単位:百万円)

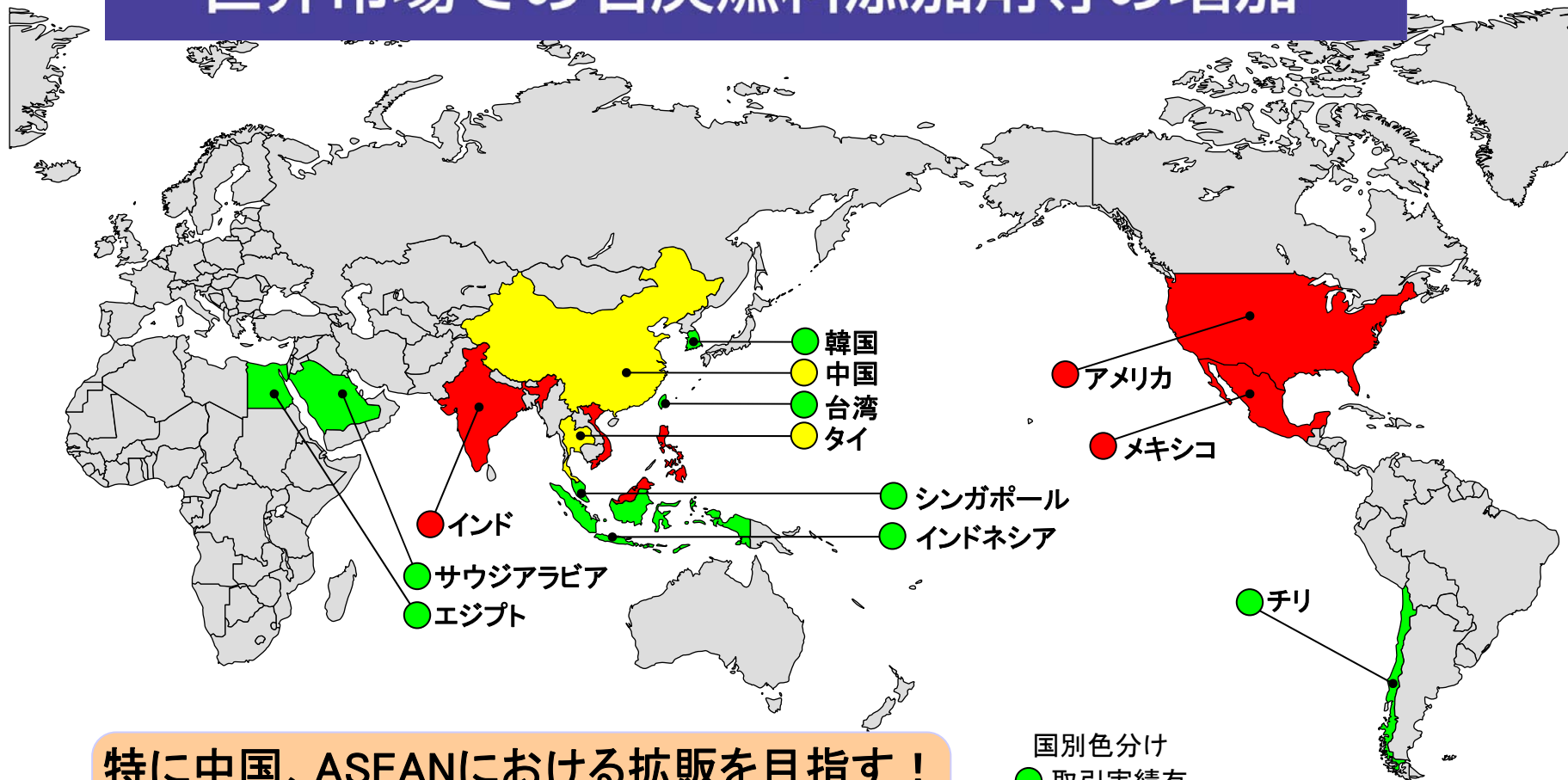
10.3期: 売上高(実績)	10,908	826
燃料添加剤(石炭添加剤・含)	277	
メガネクリンビュー	250	
携帯防水部品関連	132	
海外向	120	
その他		
11.3期: 売上高(計画)	11,734	



■ケミカル事業の成長戦略(海外ビジネス展開)■

工業薬品・化学品の輸出を行い、その地域に強い商社と協力し、綿密な情報交換により効果的な海外ビジネスを展開

世界市場での石炭燃料添加剤等の増加



特に中国、ASEANにおける拡販を目指す！
 2008年4月 上海に事務所開設！

■ケミカル事業の成長戦略(海外ビジネス展開)■

カーケア用品を中国展

開！
 自動車窓ガラス用の曇り止め剤「クリンビュー」を含むカーケア用品5種を8月に中国市場に投入！！クリンビューの他、スプレー式のタイヤクリーナー「ノータッチ」、ガラス撥水剤の「ガラスコート超撥水」等でドイツ系小売大手の「メトロ」や中国流通大手の「第一百貨」等で販売を始めました！



■ケミカル事業の成長戦略(新商品・新技術の開発)■

船舶用燃料添加剤:新商品開発！



大手海運会社との共同研究により、新商品開発！
 約1.4%強の燃費改善効果の実証されました。



大手海運会社にとっては年間約20億～30億円の燃料費削減効果！

メガネの曇り止めパイオニア「メガネクリンビュー」28年ぶりに復活！⇒秋冬商戦いよいよ本格化！！



メガネ用曇り止め「メガネクリンビュー」を28年ぶりに刷新し、全国の薬局・コンビニでの本格的な店頭販売を4月に再開しました！

本格的な秋冬商戦に向けて、順調に販路拡大中！！
 ドラッグストア等、納入店舗数:9,000店舗超達成！⇒年内に、1万店舗達成を目指します！

従来品より効果3倍長持ち！除菌効果もプラス！！

■ パーキング事業の今後の方針 ■

● 2011年3月期の方針

- ・「安全・安心・清潔」で利用しやすい駐車場を提供
- ・規模の拡大(新規開拓)→積極的な事業展開(M&Aの推進)
- ・**病院・商業施設附帯の駐車場への積極的アプローチ**
⇒京阪神の約1,000箇所の病院を重点ターゲットに！！
- ・土地の有効利用と安定収益の実現
- ・不採算駐車場の採算改善
→月極め契約の募集、駐車料金の見直し(売上拡大)
→土地賃借料の引き下げ交渉、赤字物件の解約(コスト低減)



One Park 心斎橋 大阪市中央区心斎橋一丁目13
総収容台数/244台 2009年7月30日オープン



売上高計画要因

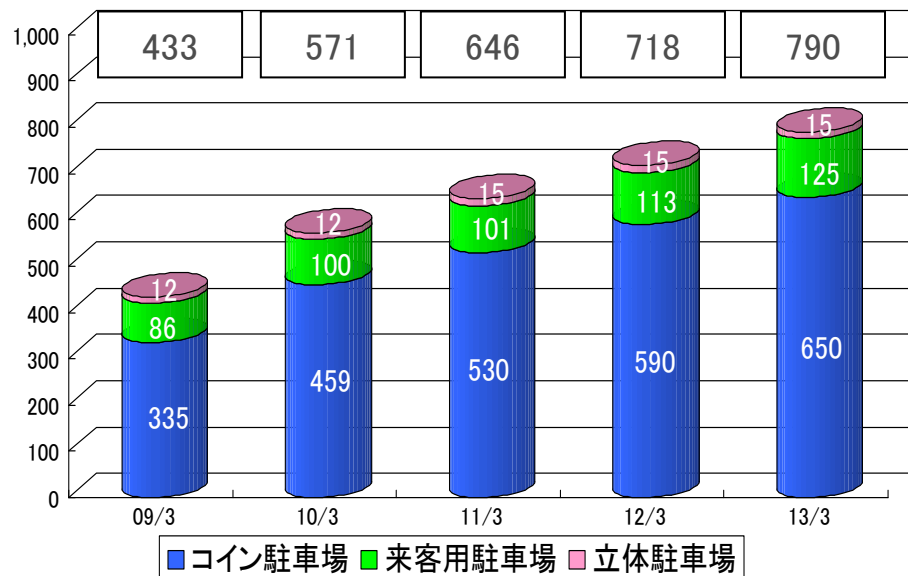
(単位:百万円)

10.3期:売上高(実績)	2,870	638
コイン駐車場	2,269	
来客用駐車場		656
立体駐車場		36
自社物件		312
その他		
11.3期:売上高(計画)	3,508	

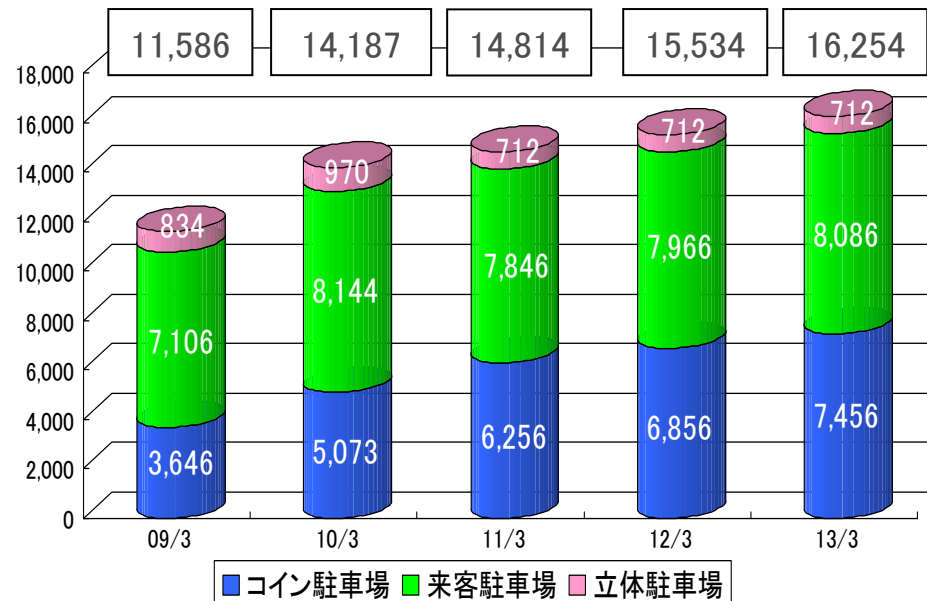


■ **パーキング事業の成長戦略(中期計画)** ■

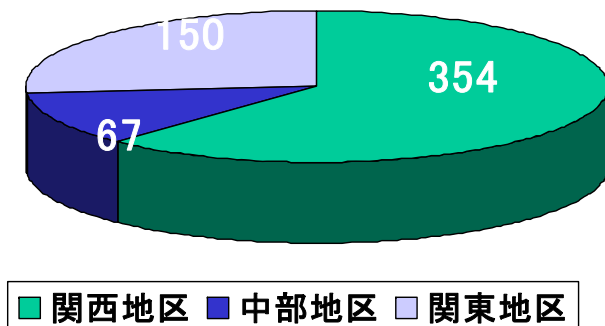
中期計画－駐車場箇所数



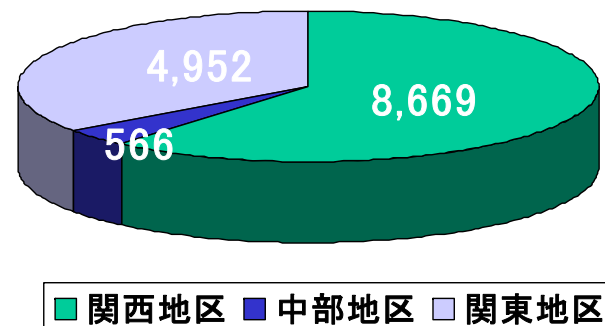
(単位:台) 中期計画－駐車場管理台数



地区別契約件数(10/3末)



地区別契約台数(10/3末)



■成長戦略:新規事業(イチネンBPプラネット株)■

◀新規事業▶車体修理管理サービス
(イチネンBPプラネット株式会社)の黒字化!!

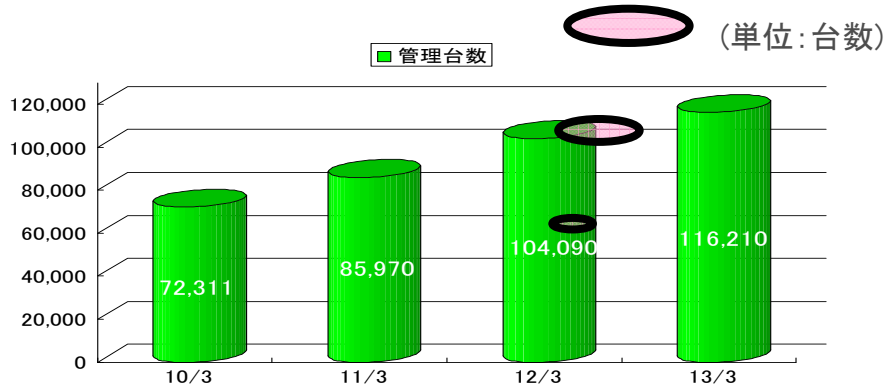


管理台数10万台突破
を目指す!!

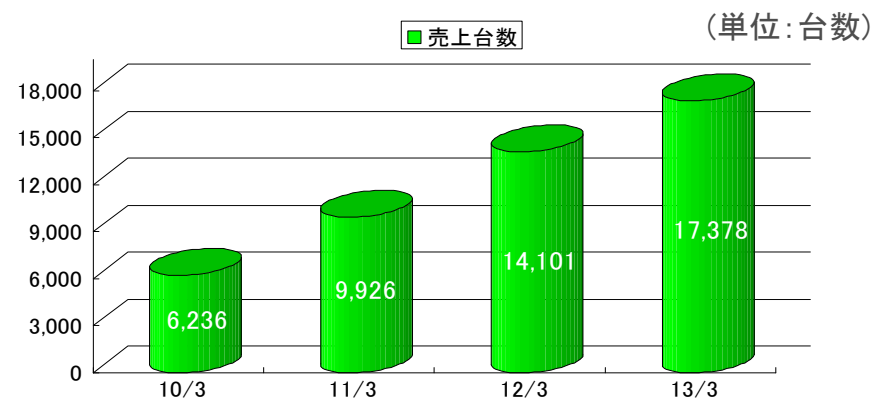
車体修理管理サービス
修理時に部品交換をするのではなく、使用可能な部品を
钣金作業で再生し、リサイクル部品を有効活用。
費用負担を抑え、新品生産によるCO2を削減。



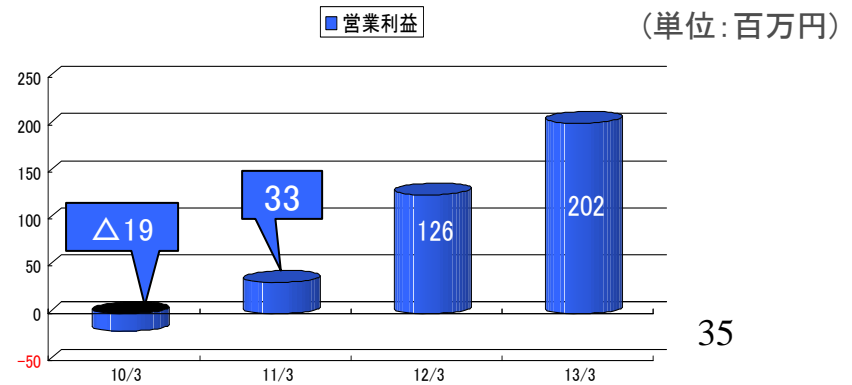
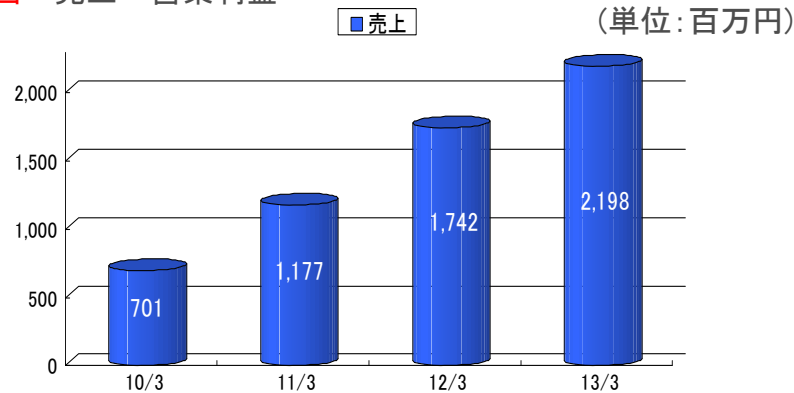
中期計画—管理台数・売上台数



車体修理もECOの時代



中期計画—売上・営業利益



■成長戦略:新規事業(カーシェアリング事業)への参入■

当社のカーシェアリングはお客様にベネフィットを提供し、クルマ社会の可能性を追求しながら人と社会に貢献することをめざします。

- 新会社設立(予定)
- 2011年春 サービス開始
- 利便性 地域 No.1のカーシェアリング

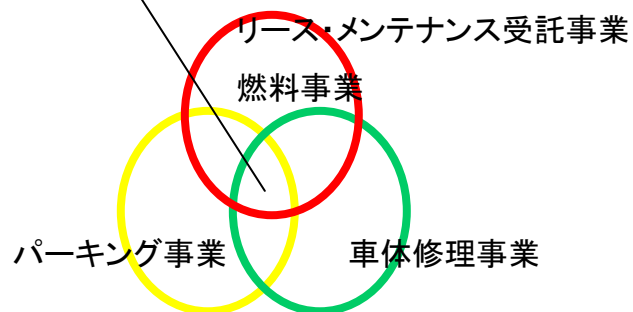
2016年3月期には、
500拠点・1,000台規模、会員数15,000人!

売上高15億円を目指します!

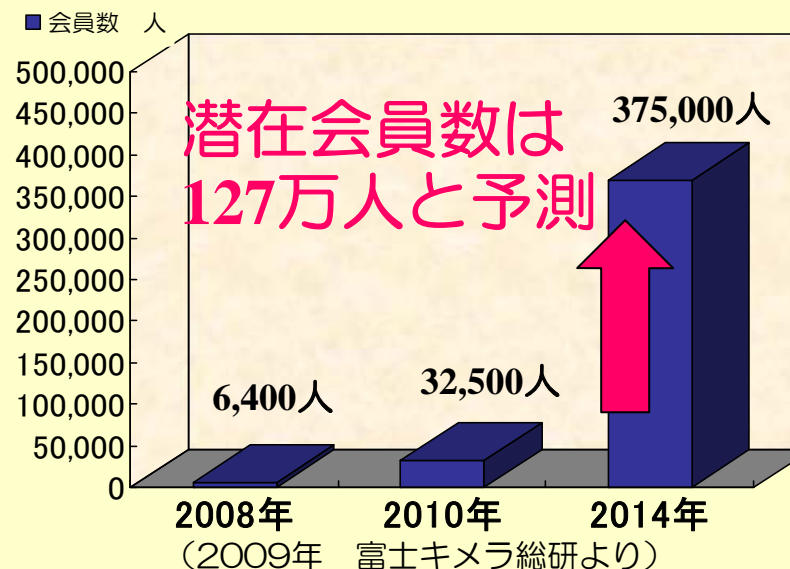


カーシェアリング事業

既存事業との親和性も高く、
各事業の競争力を活用して展開



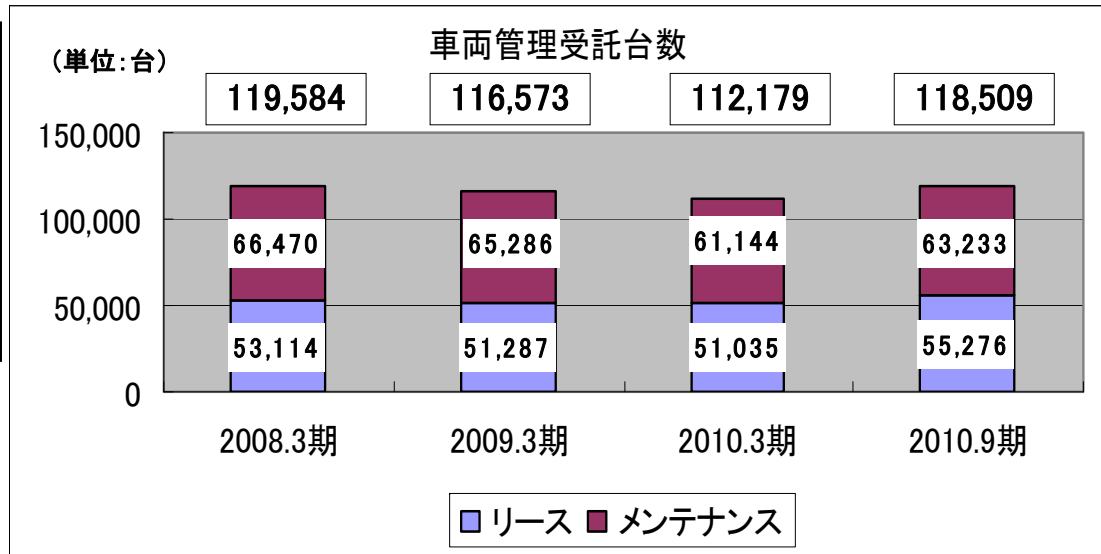
国内のカーシェアリング市場の成長予測



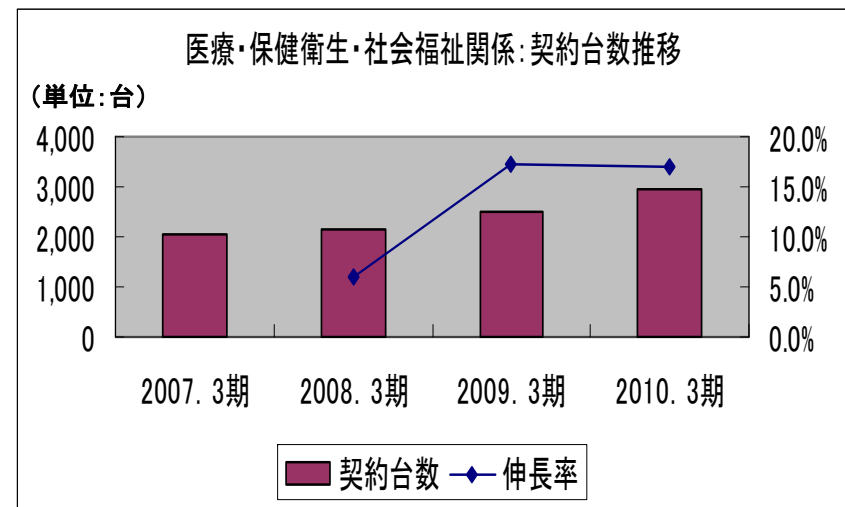
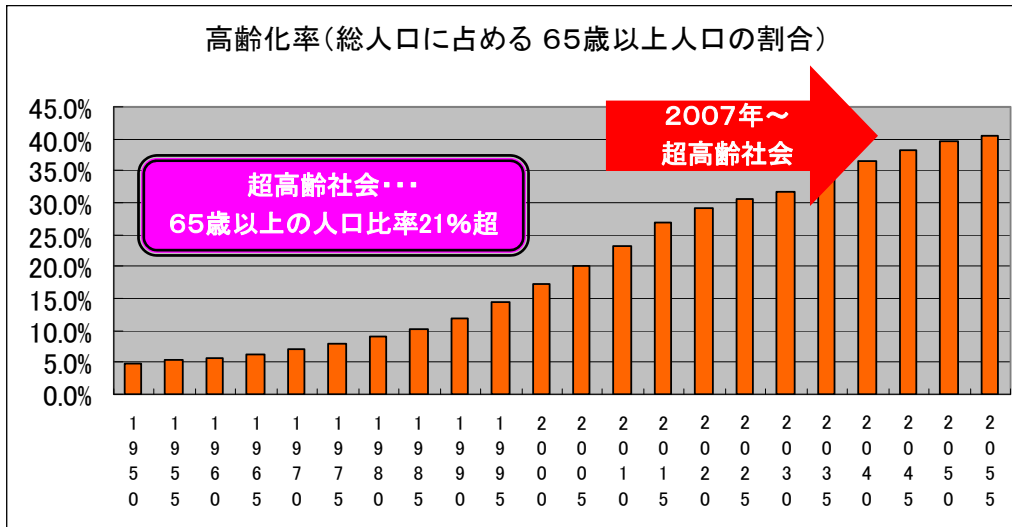
■収益基盤事業：リース事業の今後の方針■

●2011年3月期の方針

- ・自動車関連サービスを総合的・有機的に提供し、お取引先さま、及び地域インフラへの貢献を果たす
→医療・介護業界を、重点ターゲットに！！
- ・契約台数・契約残高の増加
- ・採算性の向上（満了車売却粗利益が回復基調に）
- ・積極的なM&A戦略



高齢化の状況



■MEMO■

■株主還元のお知らせ■

■株主還元のお知らせ■

配当に関する基本方針

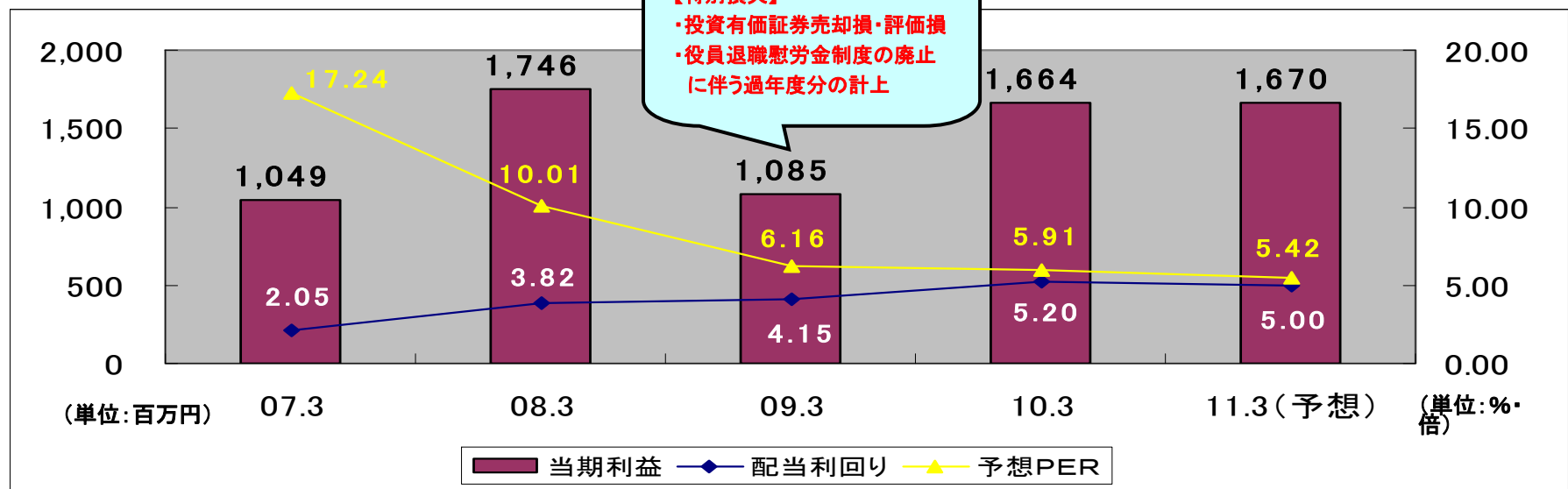
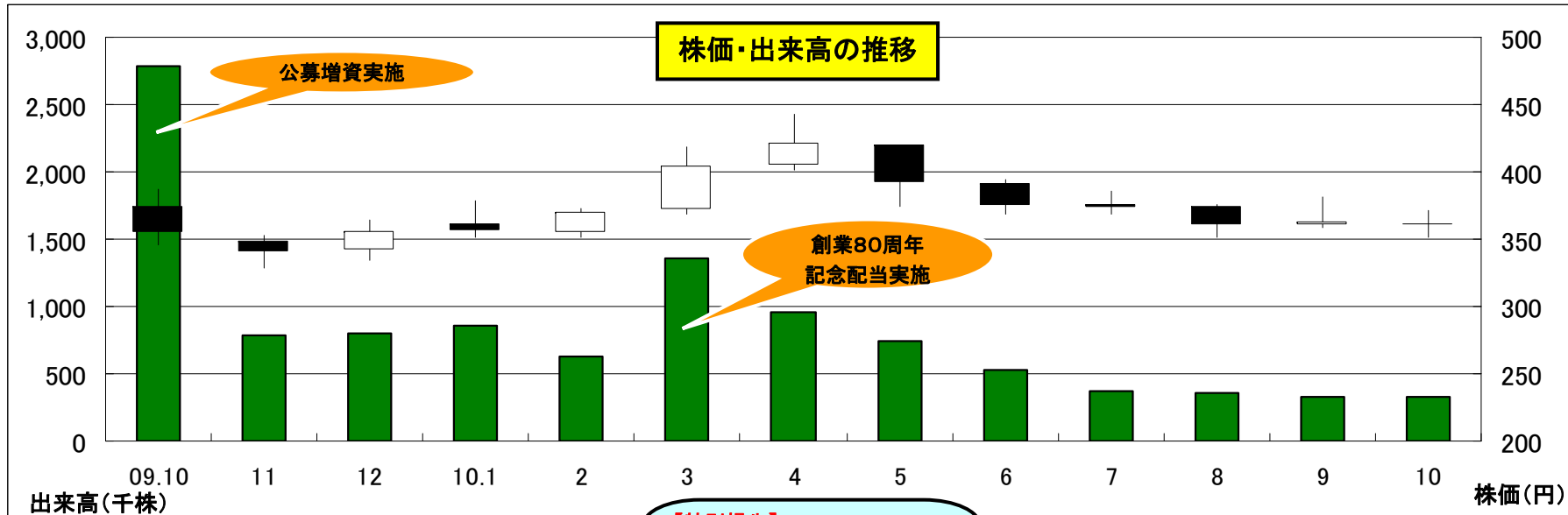
- 連結業績を基本とする配当政策といたします。
- 配当性向は、連結当期純利益の20%を基本方針とし、中期的には30%を目標といたします。

2011年3月期配当金(予想)

1株あたりの配当金(予想)			配当性向(連結)
第2四半期末	期末	年間	(予想)
9円	9円	18円	27.1%



株主還元のお知らせ



注1: 配当利回り=年間配当金÷期末株価。但し、11.3期は直近株価で計算

注2: 予想PER=決算発表翌日株価÷当期予想EPS。但し、11.3期は直近株価で計算

■株主還元のお知らせ■

株主優待情報

割当基準日／3月末日においての
 持株数に対して下記の内容の
 お米券を進呈いたします。

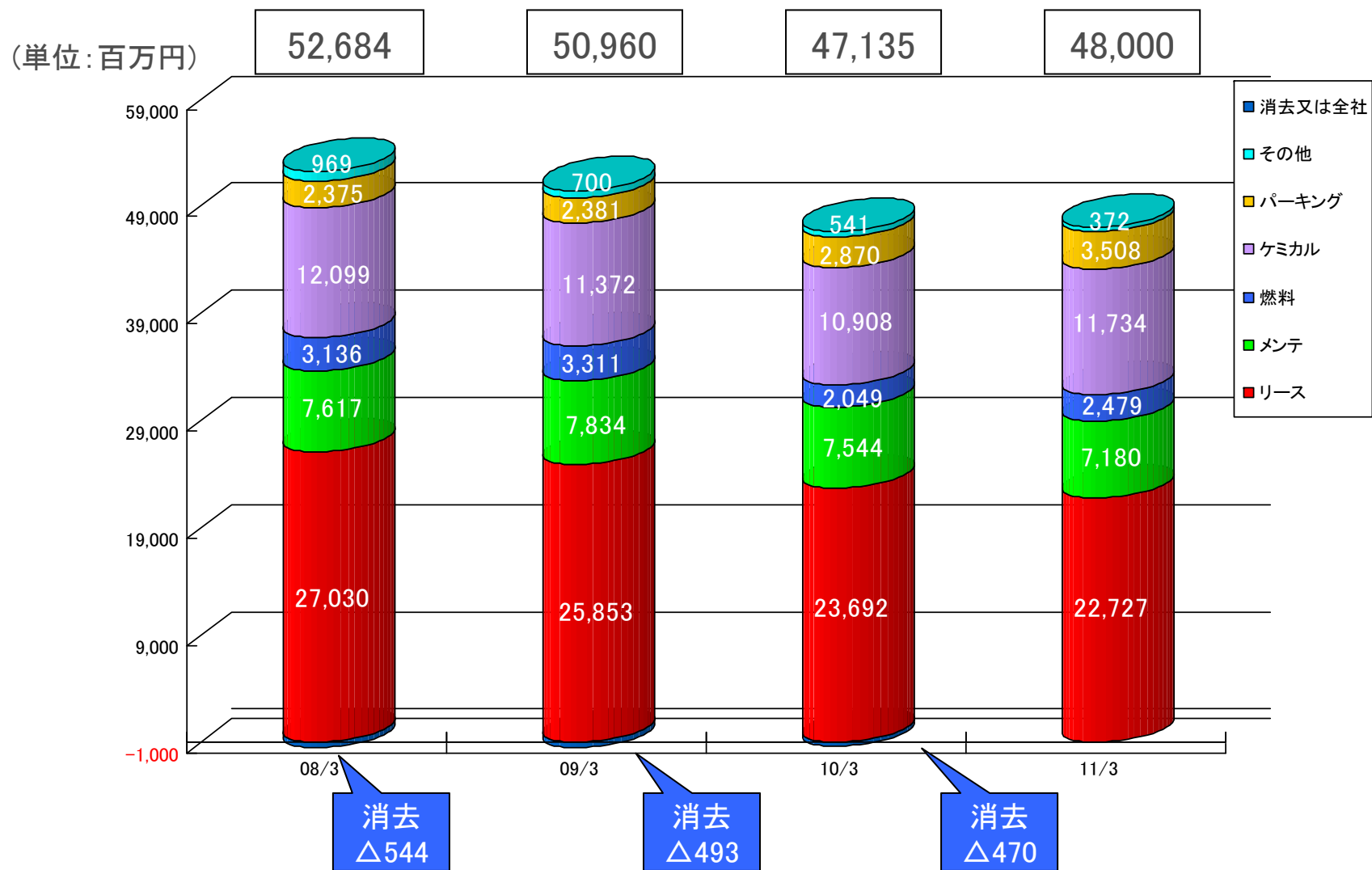


所有株数	内 容
100株以上 500株未満	全国共通おこめ券(1kg)…2枚
500株以上 2,000株未満	全国共通おこめ券(1kg)…5枚
2,000株以上	全国共通おこめ券(1kg)…10枚



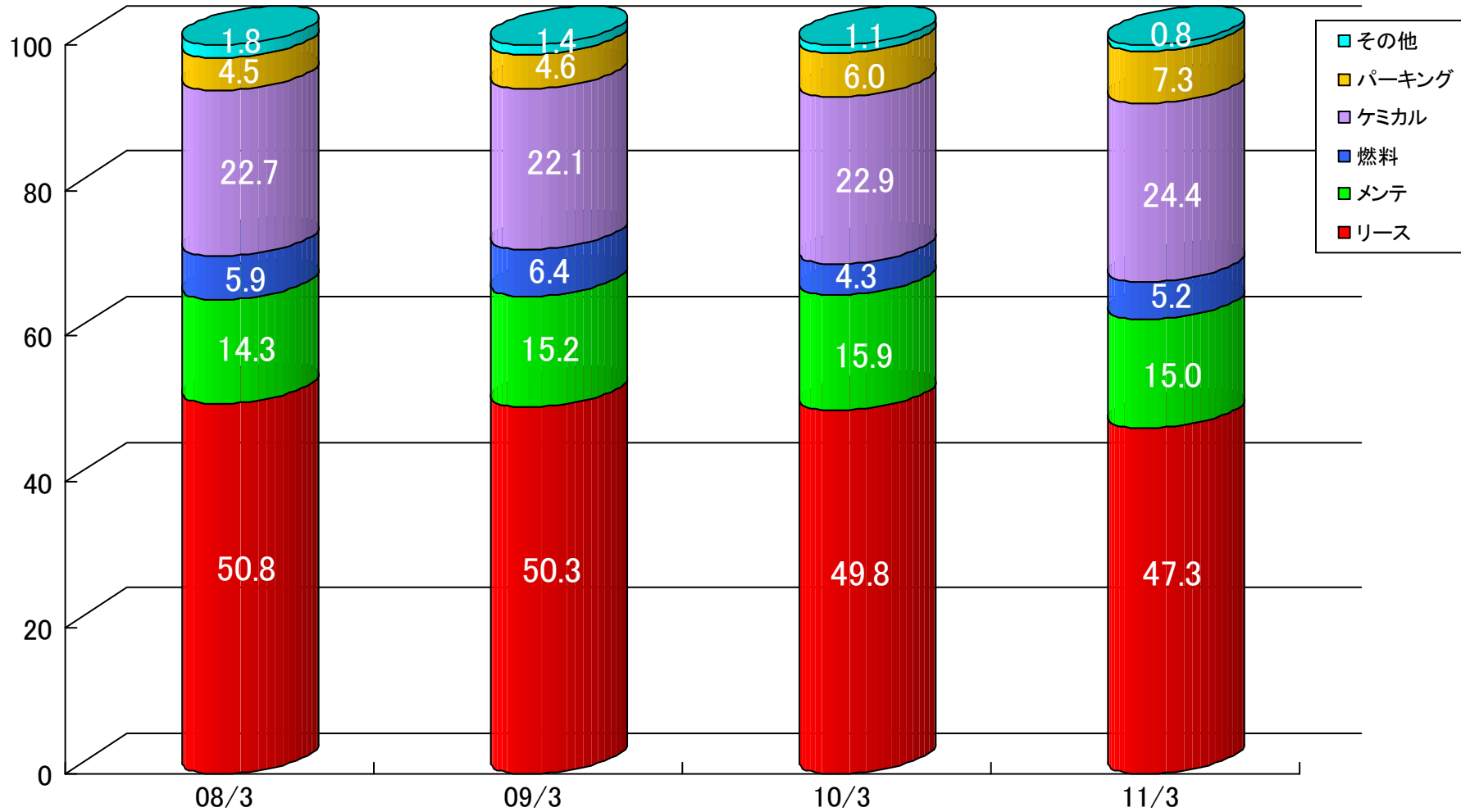
■ 参考資料 ■

■ 2011年3月期 計画(セグメント別売上高推移) ■



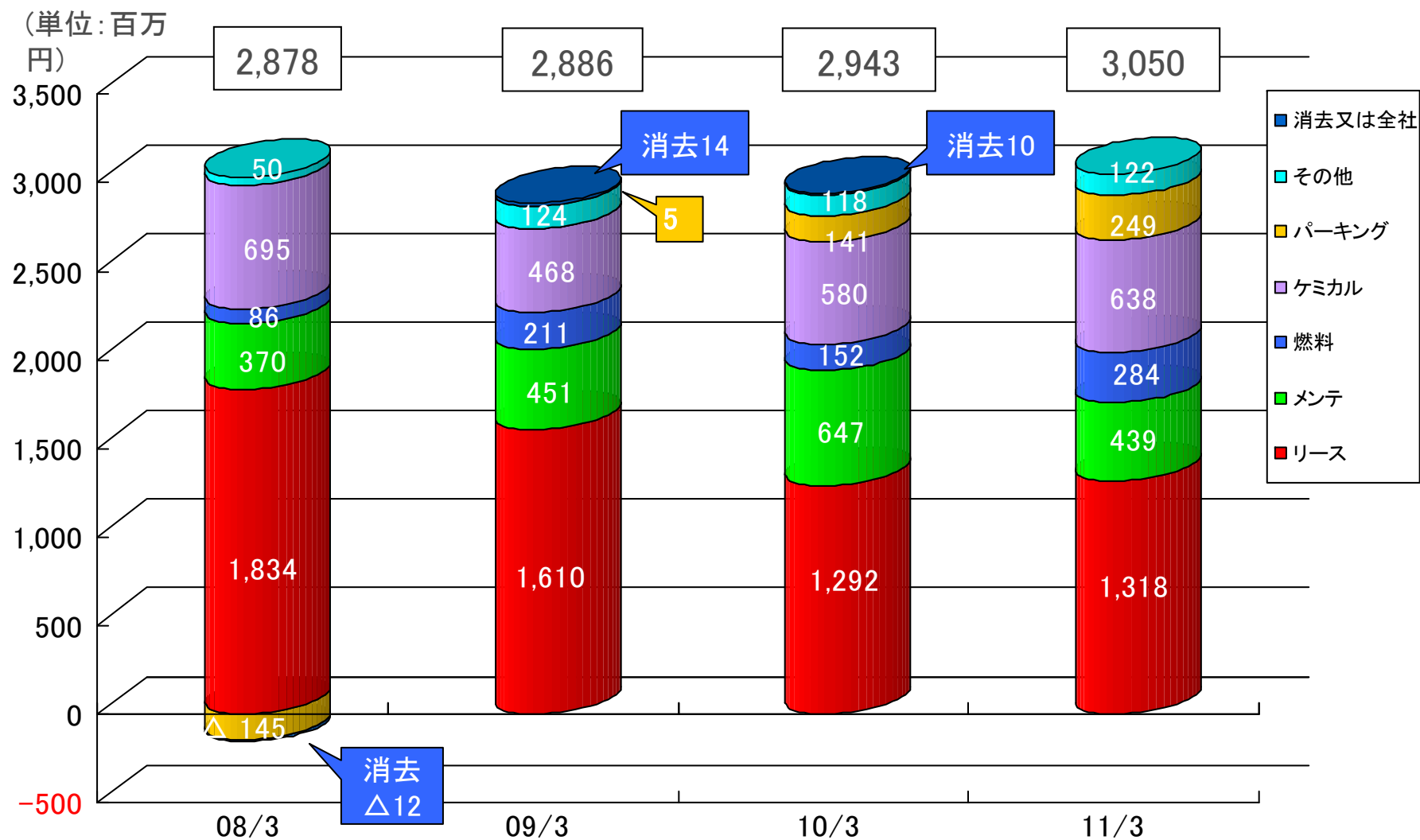
■ 2011年3月期 計画(セグメント別売上高シェア推移) ■

(単位: %)



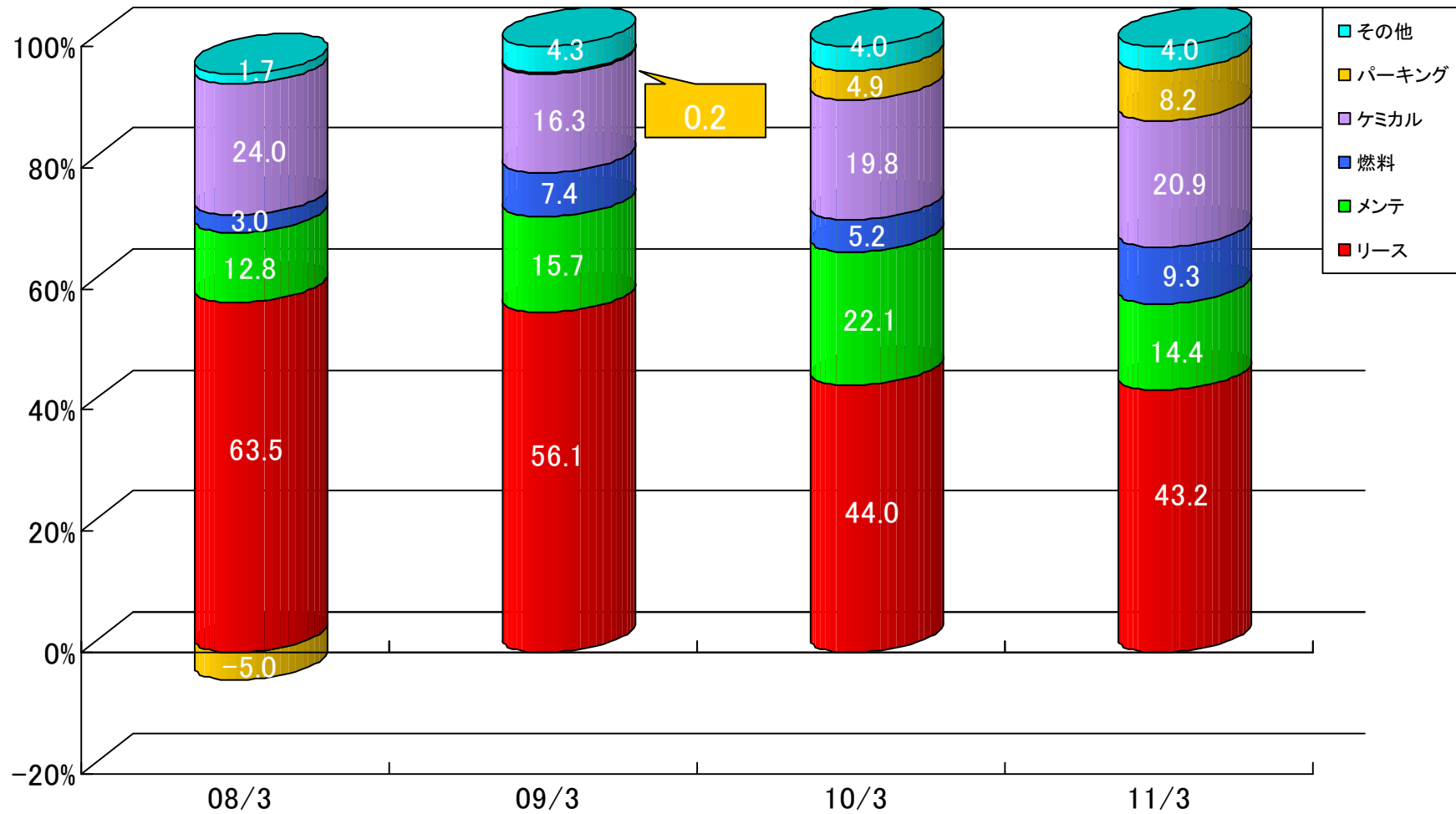
※セグメント別売上高シェア推移は内部売上高消去前の金額を元に算出しております。

■ 2011年3月期 計画(セグメント別営業利益移) ■



■2011年3月期 計画(セグメント別営業利益シェア推移)■

(単位:%)



※セグメント別営業利益シェア推移は内部売上高消去前の金額を元に算出しております。

■参考資料(リース事業)■

「リースカー」と「レンタカー」、「カーシェアリング」との違い

自動車の賃貸借は「賃貸」という点においては、「リース」、「レンタル」、「カーシェアリング」も基本的には同じ意味ですが実際には次のように大きな相違点があります。

	リースカー	レンタカー	カーシェアリング
使用目的	計画的使用・長期継続利用	一時的使用・短期集中利用	短時間利用(自動車を使用した公共交通システム)
契約期間	長期(年単位・通常2年以上)	短期(時間・日・週・月)	短期(時間・日)
所有者(車検証上)	リース会社	レンタカー会社	カーシェアリング会社
使用者(車検証上)	ユーザー	レンタカー会社	カーシェアリング会社
ユーザー	特定ユーザー	不特定多数	登録会員のみ
Noプレート	所有との区別なし	「わ」ナンバー(北海道は「わ」「れ」)	レンタカーと同じ
車両在庫	在庫せずその都度要望車種を調達	一定在庫を持ちその中から選択する	各貸出拠点(車両ステーション)に配置された車両を無人貸出
車両保管場所	ユーザーが確保する	貸主(レンタカー会社)が確保する	街中、駅前などの駐車場にカーシェアリング運営会社が確保
投入原価の回収	1契約により回収(一回の長期契約)	複数契約による回収(短期繰返)	複数契約による回収(短期繰返)
利用料金の比較	安い(年間常時利用を前提としており月額では割安)	高い(年間の稼働率によって算出されるため月額では割高)	月会費と利用料金(時間・距離)を設定。(一回の利用が6時間未満ならレンタカーより割安の場合が多い)
利用手続き		利用に際して特に申請手続きの必要はない(免許証提示のみ)	利用に際してカーシェアリング会社に会員登録が必要
中途解約	原則として不可能(損害金を支払えば可能)	車両返却と同時に可能	車両返却と同時に可能
車両維持管理(メンテナンス)	契約内容により貸主(リース会社)が実施(メンテナンス契約の場合)	全てレンタカー会社にて完全整備を実施	全てカーシェアリング運営会社が実施
継続検査(車検)	所有した場合と同じ	初回のみ2年、2回目以降1年毎	レンタカーと同じ
法定耐用年数	所有した場合と同じ	乗用車・貨物車とも3年	レンタカーと同じ
架装・塗装等	ユーザーの要望通り可能	原則的には不可能	レンタカーと同じ

■ 参考資料(リース事業) ■

自動車リース会社の形態

自動車リース業界は、「自動車」に携わる様々な業態の会社が多数参入しており、それぞれの特徴を企業別にみると次のように分類することができます。

JALA発刊の「自動車リース統計」によると、2009年9月現在JALA会員会社数は288社(※)になります。

※保有台数報告対象会社会員会社数

企業形態	特徴
自動車メーカー系自動車リース会社 自動車ディーラー系自動車リース会社 自動車ディーラー	現金・割賦・オートローンなどと同様に、自動車の販売手段の一つとして発展 グループの営業所や工場ネットを活用し、効率の良いきめ細かなサービスを提供することが可能 自動車の仕入れ・登録納車・アフターサービス・処分など一貫した管理体制をとることができる
総合リース会社系自動車リース会社 総合リース会社	銀行・商社・損保・生保などの共同出資により設立されたものが多い 資金量が豊富で、取扱物件も多種・多様 自動車リースは車両の維持管理業務が煩雑なため、専門会社として分離独立するケースが多い 出資母体の系列企業や協力会社などと連携して、有利に展開できる
自動車販売金融会社	自動車メーカーが、自動車の販売のために設立した自社系列の金融会社 その資金力と管理力を活かして自動車リースにも進出している
レンタリース会社	レンタカーと自動車リース業を併業している会社で、自動車メーカー系・ディーラー系に属さない ユーザーの必要に応じて短期(レンタ)・長期(リース)いずれにも対応できる 全国主要都市にあるレンタカー営業所を拠点として活用できる
自動車整備専門会社	メンテナンスを主軸に業務を行なっている企業で、自動車リース事業を手がけている会社 自動車整備工場からの進出も増えてきている メンテナンスノウハウを活かし、他のリース会社からのメンテナンス受託にも積極的に取り組んでいる
クレジット・信販会社	豊富な個人情報と資金量で、個人向け自動車リース事業を中心に展開している
その他	その他、企業グループ内リース会社、ガソリンスタンド、中古車業者などの各種企業が自動車リース事業に進出している

■参考資料(ケミカル事業)■

発電用燃料は変化しています

原油価格の高騰、天然ガス(LNG)価格の上昇

低価格または粗悪燃料の使用が増加
石炭(低質炭)、石油コークス、バイオマス

トラブルの多様化設備保全環境保全
大気汚染物質の発生や腐食堆積物による燃焼効率の低下や操業障害

燃料添加剤の必要性が増加!
省エネ、温暖化ガスの削減、大気汚染物質の抑制、設備の安定稼働



発電用燃料とトラブル

液体燃料

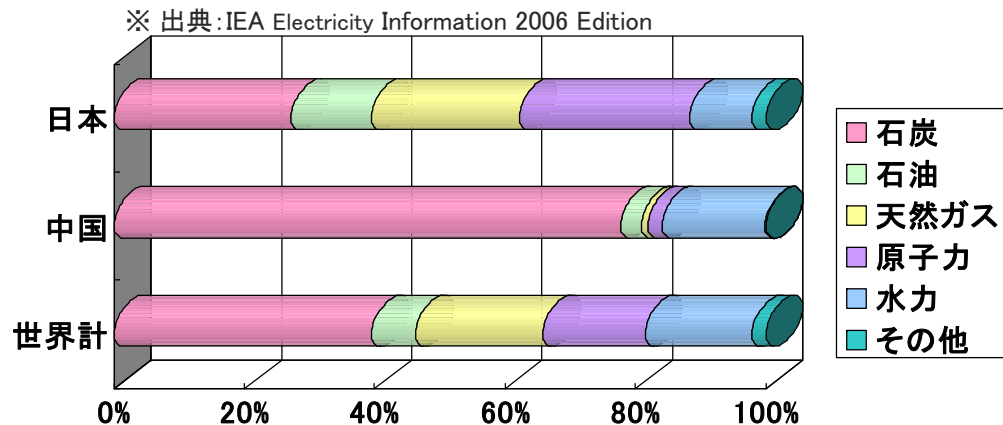
- i. 重油
スラッジ成分(残留炭素)による未燃カーボンの発生
⇒ばいじん量増加
含有灰分(V, Na, Ca, 等)が伝熱面へ付着することによる熱率低下
硫黄化合物の燃焼による硫酸腐食
- ii. 軽油
浮遊粒子状物質(粒径:10 μ m以下)による呼吸器疾患

固形燃料

- i. 石炭
燃焼時にボイラ炉内にクリンカーが付着堆積し、燃焼効率・熱電効率の低下原因となる
燃料消費の増加と安定操業を阻害する
- ii. 石油コークス
日本では発電用燃料として需要大
高温燃焼により酸化バナジウムが生成され炉内水管を腐食させる
- iii. バイオマス
クリンカー付着により連続操業の障害になる
食塩やカリウムによりボイラ鋼管を腐食させる
高温燃焼により、塩素ガスや塩酸ガスが生成され炉内を腐食させる

■参考資料(ケミカル事業)■

電源別発電電力量の構成比



石炭は主なエネルギー資源の中で最も埋蔵量が豊富です。
原油の約4倍、天然ガスの約3倍といわれています。
エネルギー需要に対応するためには“重要な資源”です。



世界的な埋蔵量は
低品質な石炭が多い

特にアジアでは
低品質な石炭の使用が多い

- ・日本の電気の約30%は石炭で発電
- ・中国の電気の約80%は石炭で発電
- ・世界の電気の約40%は石炭で発電

世界中から運ばれてくるエネルギー資源



電気はいろいろな資源からつくられる。

参考: 確認可採埋蔵量 (2005年現在)

- 石油 … 41年
- 石炭 … 155年
- 天然ガス … 65年
- ウラン … 85年

※ 出典: BP統計2006、URANIUM2005

ご清聴ありがとうございました。

 ICHINEN HOLDINGS
〈 9619 〉